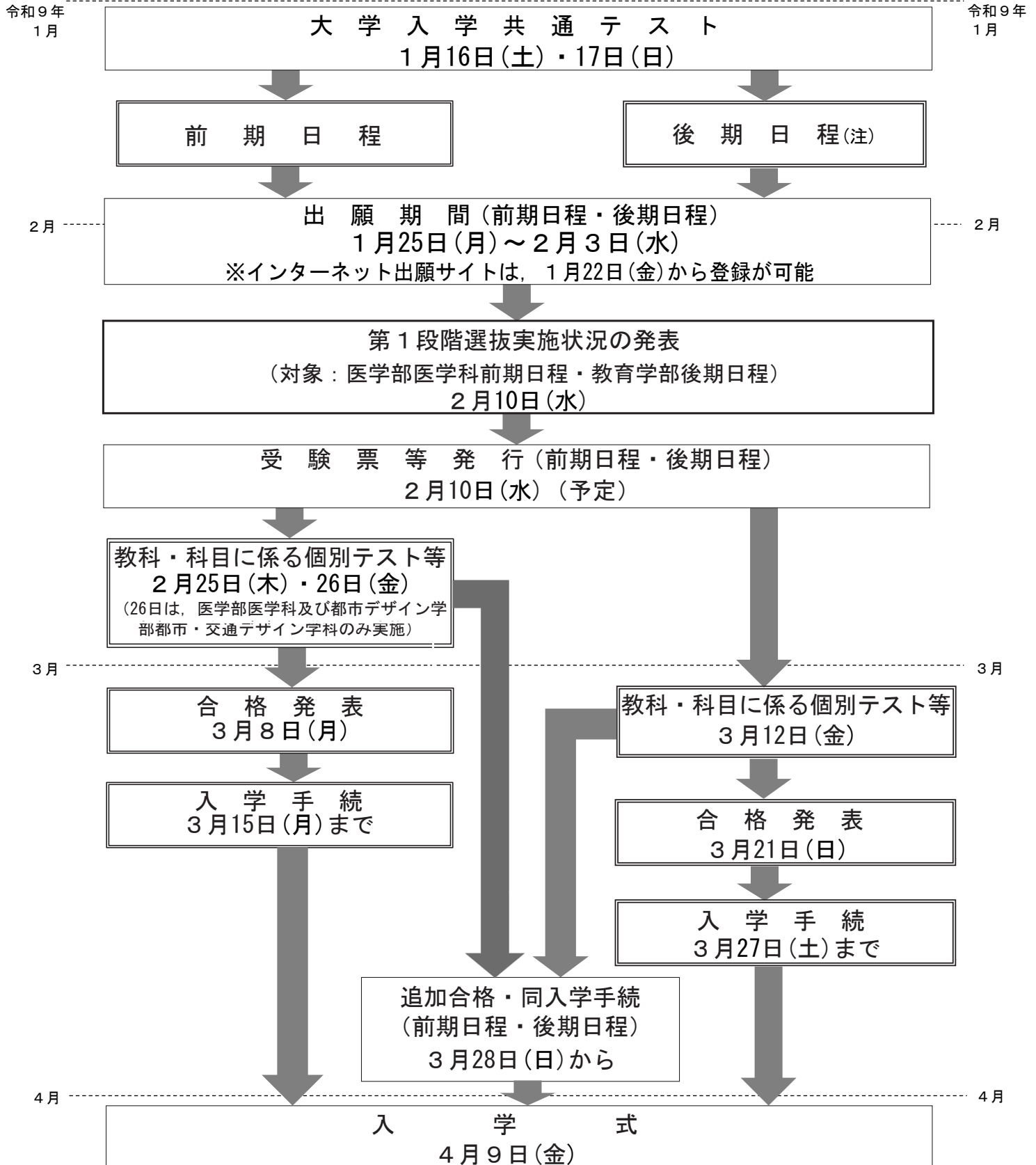


I 共通事項（前期日程・後期日程）

この項目は、前期日程・後期日程の両方に共通する事項です。

富山大学入学者選抜日程の概要（一般選抜）



(注) 医学部医学科は、後期日程の募集を行いません。

1 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

富山大学 入学者受入れの方針

富山大学は、本学が掲げる教育理念、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、人文科学、社会科学、自然科学、生命科学、保健医療及び芸術文化の各分野に高い関心を持ち、幅広く豊かな教養と専門的な知識や技術を活かして、地域と国際社会に貢献しようとする高い志を持つ者を受け入れる。

そのため入学者選抜の基本方針として、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入試を提供する。

人文学部

【入学者受入れの方針】

人文学部は、次のような学生を求める。

- ・人文学を幅広く、深く学ぶために必要な基礎的能力を持っている人
- ・人文学諸分野に知的関心を持ち、人間についての理解を深めたいと考えている人
- ・異文化を理解し、多文化共生社会の中で他者と豊かな関係を築きながら自己の成長を目指す人
- ・柔軟な思考力、幅広い視野と国際感覚を身に付け、地域社会や国際社会に貢献する市民となることを目指す人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■一般選抜（前期日程）

高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、人文学部での学修に関連する科目について理解力と応用力を広く備えた人を選抜する。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」ならびに「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価する。教科・科目に係る個別テストでは国語と外国語（英語）を課し、人文学部で学ぶために必要な「知識・技能」ならびに「思考力・判断力・表現力」を評価する。調査書は「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価する際の参考資料とする。

■一般選抜（後期日程）

高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、人文学部での学修に関連する科目について理解力と応用力を備えた人を選抜する。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」ならびに「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価する。小論文を課し、「思考力・判断力・表現力」を評価する。調査書は「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価する際の参考資料とする。

【入学者選抜方法における重点評価項目一覧】

（「○」は重点的に評価する要素）

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト （国語・外国語（英語））	○	○	
	調査書			○
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文		○	
	調査書			○

【入学前に学習すべきこと】

大学入学までに、様々な教科と科目について偏りなく学習しておくことが必要である。

教育学部

【入学者受入れの方針】

教育学部では、義務教育段階の諸学校の教師を養成することを目的としており、専門職としての教師を目指す熱意にあふれ、仲間と協力しながら専門的能力・技能を伸ばしていける以下のような学生を求める。

- ・教育を通じて、地域社会の発展に貢献しようという強い意志を持っている人
- ・専門職としての教師を真摯に目指し、人を育てることの大切さと喜びを感じられる人
- ・現代の教育課題を含む幅広い分野に興味・関心を持っている人
- ・自己の考えをはっきりと表現し、他の人の考えをしっかりと受けとめることを通じて、他者と協働ができる人
- ・高等学校における履修内容を理解し、教職を目指すために必要な学力がある人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、教育学部での学修に関連する科目について理解力と応用力を広く備えた人を選抜する。

教科・科目に係る個別テストでは、「国語」、「外国語（英語）」、「数学」のうち1教科を課し、問題の理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。

■一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、教育学部での学修に関連する科目について理解力と応用力を広く備えた人を選抜する。

本学で課す「面接」により、意欲、理解力、思考の論理性、表現力等を評価し、多様な学生を選抜する。

【入学者選抜方法における重点評価項目一覧】

（「○」は重点的に評価する要素）

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト （国語、英語、数学）	○	○	
	調査書			○
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書			○

【入学前に学習すべきこと】

- ・高等学校の教育課程を幅広く修得し、基礎的知識や技能とともに、読解力、論理的思考力、表現力を身に付けておくこと。
- ・現代の教育課題や専門職としての教師の職能について理解をしておくことが望ましい。

経済学部

【入学者受入れの方針】

経済学部では、社会科学の分野に興味・関心を持ち、次のような能力を身に付けて積極的に地域・国際社会に貢献する意欲がある人材を求める。

- ・問題解決能力や創造力
- ・幅広い知識や専門的知識の修得
- ・データサイエンスの知識・技術の活用力
- ・他者及び多様な文化を持つ者とのコミュニケーション能力

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは、高等学校卒業レベルの理解力を備えた人を選抜する。

本学では「英語」又は「数学」を課す。「英語」では、英文の理解力と英語による表現力を、「数学」では、データサイエンスを学ぶための数理的・論理的思考力を評価する。

■一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは、高等学校卒業レベルの理解力を備えた人を選抜する。

本学では「総合問題」を課し、社会科学的思考力と文章表現力を評価する。

【入学者選抜方法における重点評価項目一覧】

（「○」は重点的に評価する要素）

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト （英語または数学）	○	○	
	調査書			○
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	総合問題	○	○	
	調査書			○

【入学前に学習すべきこと】

高等学校までに学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語について、十分な基礎学力を身に付けておくこと。更に、創造力、責任感、コミュニケーション能力及び問題発見能力を身に付けておくこと。

理学部

【入学者受入れの方針】

理学部では、次のような入学者を求める。

- ・自然科学を学ぶために必要な基礎知識，論理的思考力，理解力，表現力のある人
- ・自然界の多彩な現象に強い好奇心を持ち，自然科学を広く学ぶ意欲のある人
- ・未知の問題を主体的に解明する，旺盛な探究心のある人
- ・自然科学の領域から，地域社会や国際社会に貢献したい人
- ・自然科学の知識に加え英語能力を身に付けて，様々な分野で幅広く活用したい人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。

本学では，「数学」，「理科」又は「数学及び理科」を課し，理学の修学に必要な理解力，論理的思考力，表現力を評価する。

■一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。

本学では，「数学」又は「理科」を課し，理学の修学に必要な理解力，論理的思考力，表現力を評価する。

【入学者選抜方法における重点評価項目一覧】（「○」は重点的に評価する要素）

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト （数学・理科）	○	○	
	調査書			○
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト （数学・理科）	○	○	
	調査書			○

【入学前に学習すべきこと】

高等学校までに学ぶ数学，理科，国語，外国語，地理歴史・公民，情報について，十分な基礎学力を身に付けておくこと。さらには，論理的思考力，判断力，表現力，主体的に学修に取り組む姿勢なども身に付けておくこと。

医学部医学科

【入学者受入れの方針】

生命の尊厳を理解し，医療人として不可欠な倫理観と温かい人間性，専門性を備え，専門的知識及び技能を生涯にわたって維持し向上させる自己学習の習慣を持ち，国際的視野に立って医学，医療の発展，及び地域医療等の社会的ニーズに対応できる人材を求める。

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは，高等学校等での学修の達成度を評価する。

本学で課す「数学」，「理科」，「外国語」により，医学を学ぶための基礎学力に加え，自然科学や多様な情報に対する深い洞察力，思考力，表現力を評価し，「面接」により課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価する。

【入学者選抜方法における重点評価項目一覧】（「○」は重点的に評価する要素）

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト （数学・理科・外国語）	○	○	
	面接		○	○
	調査書			○

【入学前に学習すべきこと】

医学科では，自然科学系に加え，医療情勢に関する関心やコミュニケーション能力が要求されるため，入学までに，化学，物理学，生物学，数学，語学の基礎学力を付けておくとともに，医療を取り巻く社会情勢を学んでおくことが望ましい。

医学部看護学科

【入学者受入れの方針】

看護は人間の健康全般に関わる領域であり、病める人々のみでなく、その家族及び地域で生活する多くの人々から、深い信頼と多くの期待が寄せられる。これに応えるためには、学生時代から、人間性の涵養とともによく学ぶ習慣を身に付けることが必要である。このことから看護学科では、以下の素質を有する優秀な人材を求める。

- ・基礎学力があり看護学に深い関心を持つ人
- ・自ら学ぶことをめざせる人
- ・人間に強い関心を持ち、人々の安寧のために働くことを希望する人
- ・他者との連携を保てる人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは、高等学校等での学習の達成度を評価する。

本学では、「外国語」及び「小論文」を実施し、基礎学力、理解力、論理的思考力及び文章表現力等を評価する。

■一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは、高等学校等での学習の達成度を評価する。

本学では、「小論文」及び「面接」を実施し、基礎学力、論理的思考力、文章表現力、協調性、積極性及び将来性等を評価する。

【入学者選抜方法における重点評価項目一覧】（「○」は重点的に評価する要素）

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト （外国語・小論文）	○	○	
	調査書			○
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接		○	○
	調査書			○

【入学前に学習すべきこと】

看護学科では、理科系に加え文化系の総合的な学力が求められ、以下の内容が必要である。

- ・基礎学力の充実（人間の構造や機能を理解するために、理科や数学的思考方が基礎となり、人間の社会や関係を理解するために国語や社会の知識が必要）
- ・自己学修の習慣（自ら課題を見つけ、調べ、考える習慣が必要）
- ・看護学（国際的視野を含む。）への関心
- ・他者との相互理解のためのコミュニケーション力

薬学部薬学科

【入学者受入れの方針】

薬の理解と薬学研究を通じて、人類の健康、福祉、衛生及び健全な社会環境の保全に貢献できる人材を育成するに当たり、薬学科では、次の人材を求める。

- ・薬剤師としての高度な学識と職能を得たい人
- ・医薬品の研究や臨床開発に携わることで人類と社会に貢献したい人
- ・東西医薬学の融合による統合医療の実践を目指す人
- ・医療や保健衛生の分野で社会に貢献したい人
- ・地域や国内外の医療、研究、行政に薬剤師として貢献したい人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは、基礎学力を評価する。

本学では、「数学」及び「理科」を課して、数学力、理解力、応用力、表現力、科学的思考力等を評価する。

■一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは、基礎学力を評価する。

本学では、「小論文」及び「面接」を課して、論理的思考力、文章表現力、学習意欲、適性等を評価する。

【入学者選抜方法における重点評価項目一覧】

（「○」は重点的に評価する要素）

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト （数学・理科）	○	○	
	調査書			○
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接		○	○
	調査書			○

【入学前に学習すべきこと】

薬学は、広範で多様な学問分野から成っているため、入学までに、化学、物理、生物、数学、語学の基礎学力を付けておくことが望ましい。

薬学部創薬科学科

【入学者受入れの方針】

薬の理解と薬学研究を通じて、人類の健康、福祉、衛生及び健全な社会環境の保全に貢献できる人材を育成するに当たり、創薬科学科では、次の人材を求める。

- ・薬学関連の研究分野で国際的に活躍したい人
- ・新薬の研究に携わることで人類と社会に貢献したい人
- ・東西医薬学の融合による医薬品の創出を目指す人
- ・疾患に関連する現象や物質に対して興味と研究心を有している人
- ・生体メカニズムの解明やそのための新しい方法論の開拓に挑戦したい人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは、基礎学力を評価する。

本学では、「数学」及び「理科」を課して、数学力、理解力、応用力、表現力、科学的思考力等を評価する。

■一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは、基礎学力を評価する。

本学では、「小論文」及び「面接」を課して、論理的思考力、文章表現力、学習意欲、適性等を評価する。

【入学者選抜方法における重点評価項目一覧】

（「○」は重点的に評価する要素）

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト （数学・理科）	○	○	
	調査書			○
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接		○	○
	調査書			○

【入学前に学習すべきこと】

薬学は、広範で多様な学問分野から成っているため、入学までに、化学、物理、生物、数学、語学の基礎学力を付けておくことが望ましい。

工学部

【入学者受入れの方針】

工学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる専門的学識、問題発見・解決力、社会貢献力、そしてコミュニケーション能力を卒業時までに関得することが出来る資質を有する者を求める。

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■一般選抜（前期日程、後期日程）

大学入学共通テストにより、数学、理科、情報に関する基礎学力、外国語、国語に関するコミュニケーションや表現に関する能力、地理歴史・公民に関する基礎知識を評価し、本学で課す教科・科目に係る個別テストまたは小論文により、専門分野で必要とされる応用力及び論理的思考力を評価し、工学を学ぶための適性を持つ者を選抜する。

【入学者選抜方法における重点評価項目一覧】

（「○」は重点的に評価する要素）

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト （数学・理科）	○	○	
	調査書			○
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文		○	
	調査書			○

【入学前に学習すべきこと】

工学を学ぶために必要となる基礎学力（数学、物理、化学、生物、情報等）に加え、コミュニケーション能力に関連する国語や外国語（英語）をしっかりと学習しておくこと。また、世界の動向を理解するために必要な社会的知識（地理歴史・公民）等も学習しておくこと。

芸術文化学部

【入学者受入れの方針】

芸術文化に関心があり、美術、工芸、デザイン、建築、キュレーションあるいは従来の領域にこだわらない表現活動に対する学修意欲を持ち、社会の調和的発展に貢献しようとする高い志を持つ者を求める。

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、「実技検査（鉛筆デッサン）」又は「小論文」を課す。「実技検査（鉛筆デッサン）」では観察力、描写力及び表現力を総合的に評価し、「小論文」では理解力、論理的思考力及び表現力を総合的に評価する。

■一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、「実技検査（鉛筆デッサン）」又は「小論文」を課す。「実技検査（鉛筆デッサン）」では観察力、描写力及び表現力を総合的に評価し、「小論文」では理解力、論理的思考力及び表現力を総合的に評価する。

【入学者選抜方法における重点評価項目一覧】

（「○」は重点的に評価する要素）

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	実技検査	○	○	
	小論文		○	
	調査書			○
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	実技検査	○	○	
	小論文		○	
	調査書			○

【入学前に学習すべきこと】

高等学校等で履修する教科・科目について、教科書で学習する基礎的な学力を身に付けておくこと。また、デッサンによる観察、描写、表現の基礎、あるいは文章の読解と論理的思考・表現について学習しておくこと。さらに各種芸術の創作や鑑賞を通して、基礎的な造形力や豊かな感性を育てることが望ましい。

都市デザイン学部 地球システム科学科

【入学者受入れの方針】

地球システム科学科では、次のような人材を求める。

- ・地球の成り立ちや変動、地域の自然や環境に強い関心をもつ人
- ・高等学校までの基礎学力を十分に備えている人
- ・ものごとを論理的に考えることを志向する人
- ・多様な人々と協働することを志向する人
- ・地球や地域についての知識や視点を将来の職業に活かしたい人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■一般選抜（前期日程、後期日程）

大学入学共通テスト及び本学が実施する教科・科目に係る個別テストにより、高等学校卒業までに修得すべき基礎学力を評価する。本学では、特に読解力、論理的思考力を重視する。

【入学者選抜方法における重点評価項目一覧】

（「○」は重点的に評価する要素）

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト （数学、理科）	○	○	
	調査書	○		○
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト （数学）	○	○	
	調査書	○		○

【入学前に学習すべきこと】

高等学校卒業までに学ぶ数学、理科、国語、外国語、情報、地理歴史・公民について、十分な基礎学力を身に付けておくことが重要である。理科（物理、化学、生物、地学から2科目以上）、数学（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C）、英語、情報（Ⅰ）は、特に十分な学習をしていることが望まれる科目である。

都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科及び材料デザイン工学科

【入学者受入れの方針】

都市・交通デザイン学科及び材料デザイン工学科では、幅広い知識を身に付けるとともに、豊かな人間性を涵養し、地球（環境）、都市・交通、材料に関する深い専門的学識や技術を修得して、地域社会や国際社会の持続的発展に貢献する意欲のある人材を求める。このため、特に以下のような人材を求める。

- ・都市や地域の創生に興味のある人
- ・美しい都市や地域の実現に興味のある人
- ・都市のユニバーサルデザインに興味のある人
- ・地域を支える、便利で合理的な交通システムの開発や計画に興味のある人
- ・防災の在り方やその具体的な方策から、安全・安心な社会の実現に興味のある人
- ・物理学や化学の知識に基づいて、材料の様々な特性・特徴が発現する仕組みの解明に興味のある人
- ・社会や自然の環境に強い興味を持ち、新素材や新機能材料の開発に興味のある人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■一般選抜（前期日程、後期日程）

[都市・交通デザイン学科]

大学での学修に必要とされる高等学校卒業レベルの基礎学力を評価するとともに、思考力、判断力、表現力、及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する。

[材料デザイン工学科]

大学での学修に必要とされる高等学校卒業レベルの基礎学力を評価するとともに、読解力、論理的思考力、及び表現力を評価する。

【入学者選抜方法における重点評価項目一覧】

（「○」は重点的に評価する要素）

[都市・交通デザイン学科]

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	○		
	教科・科目に係る個別テスト (数学)，面接（調査書を含む。）	○	○	○
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト	○		
	教科・科目に係る個別テスト (数学)，面接（調査書を含む。）	○	○	○

[材料デザイン工学科]

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト (数学，物理，化学)	○	○	
	調査書			○
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト	○	○	
	面接			○
	調査書			○

【入学前に学習すべきこと】

都市デザイン学を学ぶ上で必要とされる数学，理科，外国語（英語），国語，情報，地理歴史・公民等について，高等学校卒業レベルの学力を身に付けておくこと。普通科以外の高等学校の卒業者は，履修可能な数学，理科，英語，情報（Ⅰ）に関する多くの科目を履修するとともに，特に数学（Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，A，B，C）については自学自習により，不足分を身に付けておくこと。また，地球（環境），都市・交通，材料等の問題についても広く関心を持っておくこと。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）のほか，教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）及び卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）については，本学ウェブサイトをご覧ください。

（本学トップページ）→「大学紹介」→「三つのポリシー」→「学士課程の三つのポリシー」

2 募集人員

学部	学 科 等		募集人員			
			一般選抜			
			前期日程		後期日程	
人文学部	人文学科		125		33	
教育学部	共同教員養成課程		56		10	
経済学部	経済経営学科		229		30	
理学部	理学科（注１）		(Ⅰ) 118 (Ⅱ) 16		(Ⅰ) 37 (Ⅱ) 13	
医学部	医学科（注２）		68			
	看護学科		50		10	
	計		118		10	
薬学部	薬学科（注３）		35		5	
	創薬科学科		29		3	
	計		64		8	
工学部	工学科 （注４）	電気電子工学コース	290 （注５）	[Ⅰ 52] [Ⅱ 20]	53	[10]
		知能情報工学コース		[78]		[10]
		機械工学コース		[67]		[10]
		生命工学コース		[38]		[10]
		応用化学コース		[35]		[13]
		計	290	53		
芸術文化学部	芸術文化学科（注６）		a 25 b 30		a 10 b 10	
都市デザイン学部	地球システム科学科		26		10	
	都市・交通デザイン学科		24		15	
	材料デザイン工学科		45		10	
	計		95		35	
合 計			1, 166		249	

注1) 理学部理学科「一般選抜（前期日程・後期日程）」は理学科全体で募集を行います。なお、理学部理学科一般選抜（前期日程・後期日程）では、教科・科目に係る個別テスト（以下「個別テスト」といいます。）の募集区分、教科・科目の組合せごとに募集人員を設定していますが、これは概ねの人数を示し、志願状況等により増減する場合があります。

前期日程 募集区分(I) 数学(38名)、数学・物理(26名)、数学・化学(26名)、数学・生物(28名)、

募集区分(II) 数学又は理科(16名)

後期日程 募集区分(I) 数学(13名)、物理(8名)、化学(8名)、生物(8名)、

募集区分(II) 数学又は理科(13名)

募集区分(II)において、本学が指定する英語資格・検定試験を受験している場合には、その成績を「英語資格・検定試験換算表」により大学入学共通テスト外国語（英語）の点数として、250点満点を上限に、加算し評価します。

2) 医学部医学科は6年制課程です。後期日程の募集は行いません。

3) 薬学部薬学科は6年制課程です。

4) 工学部工学科「一般選抜（前期日程・後期日程）」は工学科全体で募集を行います。なお、表中の[]の数は、各コースの受入予定者数（概ねの人数）を示します。

5) 工学部工学科（電気電子工学コース）の「一般選抜（前期日程）」における募集区分(I)は大学入学共通テスト重視の配点による選抜、募集区分(II)は個別テスト重視の配点による選抜を行います。なお、実施教科・科目等は同一です。

6) 芸術文化学部における募集区分 a 及び募集区分 b は、実施教科・科目等が異なる選抜を行います。

3 試験実施方式等

(1) 実施方式・日程

本学の入学者の選抜は、分離・分割方式（前期日程・後期日程）により行います。

(2) 実施方式・日程間の併願

- ① 本学の前期日程に出願した者は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の前期日程には出願できません。

また、本学の後期日程に出願した者は、他の国公立大学・学部の後期日程には出願できません。

- ② 本学の前期日程の学部・学科（コース）と後期日程の学部・学科（コース）は、併願することができます。

- ③ 前期日程の大学・学部合格し入学手続を完了した者は、後期日程の大学・学部を受験してもその合格者とはなりません。

※公立大学協会ウェブサイト (<https://www.kodaikyo.org>) 参照

4 出願資格

本学の一般選抜に出願することができる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ令和9年度大学入学共通テストにおいて、志望する学部・学科等が指定する教科・科目をすべて受験した者です。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月31日までに卒業見込みの者

- (2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を卒業（修了）した者及び令和9年3月31日までに卒業（修了）見込みの者

- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者（次の①から⑦のいずれかに該当する者）

- ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者

- ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者

- ④ 文部科学大臣の指定した者

- ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規定（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

- ⑥ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者

- ⑦ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの

なお、出願資格⑦の個別の入学資格審査により出願しようとする者は、令和9年1月20日（水）までに、本学学務部入試課に照会してください。

照会先：〒930-8555 富山市五福3190 富山大学学務部入試課 TEL (076) 445-6100

5 入学者の選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、大学入学共通テスト、本学の個別テスト等及び調査書の結果を総合して行います。

調査書は、5段階評価（A～E）を行い合否判定の参考資料として活用します。なお、個別テスト等において、面接を課す学部学科においては、面接の資料として合否判定に活用します。

- (2) 2段階選抜

教育学部共同教員養成課程及び医学部医学科では、入学志願者が下表の倍率を超え、試験を適切に行うことが困難であると判断される場合、大学入学共通テストの成績〔各学部が指定する利用教科・科目、配点（16ページ、20ページを参照）〕により、第1段階の選抜を実施し、その合格者に対してのみ個別テスト等を実施します。

学部・学科等	日程	
	前期日程	後期日程
教育学部共同教員養成課程		約25倍
医学部医学科	約5倍	

- ① 第1段階選抜実施状況の発表（令和9年2月10日(水)15時発表）

第1段階選抜実施の有無については、本学のウェブサイトで公表します。

- ② 第1段階選抜結果の通知（令和9年2月10日(水)15時以降）

第1段階選抜を実施した場合、合格者は富山大学一般選抜受験票の発行をもって第1段階選抜結果の通知に代えます。第1段階選抜実施状況の発表以降、インターネット出願サイトから受験票をダウンロードすることができます。39ページ「11 受験票及び受験上の注意事項の印刷」を参照し受験票を印刷してください。

不合格者には「第1段階選抜結果通知書（不合格通知書）」及び「検定料返還手続きに必要な書類」を速達郵便で送付します。

なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

第1段階選抜を実施しなかった場合は、通知は行いません。

6 入学者選抜の実施教科・科目等

(1) 教科・科目名の表記

本学における大学入学共通テストの利用教科・科目名は次のように表記しています。

- 国語 → 国
「国語」→「国」
- 地理歴史 → 地歴
「地理総合，地理探究」→「地総・地探」
「歴史総合，日本史探究」→「歴総・日探」
「歴史総合，世界史探究」→「歴総・世探」
「地理総合／歴史総合／公共」→「地総／歴総／公」
- 公民 → 公民
「公共，倫理」→「公・倫」 「公共，政治・経済」→「公・政経」
「地理総合／歴史総合／公共」→「地総／歴総／公」（再掲）
- 数学 → 数
「数学Ⅰ，数学A」→「数Ⅰ，数A」 「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」
「数学Ⅲ，数学B，数学C」→「数Ⅲ，数B，数C」
- 理科 → 理
「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」→「物基／化基／生基／地基」
「物理」→「物」 「化学」→「化」
「生物」→「生」 「地学」→「地」
- 外国語 → 外
「英語」→「英」 「ドイツ語」→「独」 「フランス語」→「仏」
「中国語」→「中」 「韓国語」→「韓」
- 情報 → 情
「情報Ⅰ」→「情Ⅰ」

(注1) 「地総／歴総／公」にある「/」は，1つの出題科目の中で複数の出題範囲を選択解答することを表します。「地総／歴総／公」を選択する場合，3つの出題範囲のうち2つを選択解答してください。

「物基／化基／生基／地基」にある「/」は，1つの出題科目の中で複数の出題範囲を選択解答することを表します。「物基／化基／生基／地基」を選択する場合，4つの出題範囲のうち2つを選択解答してください。

(注2) 「英語」の【リスニング】を利用する場合は「英（リスニングを含む。）」と表記しています。

(注3) 「地理歴史，公民」及び「理科」の2科目受験者については，大学入学共通テストの解答順に，前半に受験した科目を「第1解答科目」，後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。

個別テストの出題教科・科目名は次のように表記しています。

- 国語 → 国
- 数学 → 数
「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」 「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」 「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」
「数学A」→「数A」 「数学B」→「数B」 「数学C」→「数C」
- 理科 → 理
「物理基礎・物理」→「物基・物」 「化学基礎・化学」→「化基・化」
「生物基礎・生物」→「生基・生」 「地学基礎・地学」→「地基・地」
- 外国語 → 外
「英語コミュニケーションⅠ」→「英コミⅠ」
「英語コミュニケーションⅡ」→「英コミⅡ」
「英語コミュニケーションⅢ」→「英コミⅢ」

「論理・表現Ⅰ」 → 「論表Ⅰ」
「論理・表現Ⅱ」 → 「論表Ⅱ」
「論理・表現Ⅲ」 → 「論表Ⅲ」

(2) 大学入学共通テスト及び個別テスト等の教科・科目等についての留意事項

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】

- ・大学入学共通テストについては、令和9年度大学入学共通テストの教科・科目等を利用します。
- ・各学部学科等で指定している教科・科目（英語においてはリスニングを含む。）の不足等があった場合は、出願無資格で失格となり、個別テスト等の受験はできません。志願者本人がこの学生募集要項を熟読し、出願の際に73～74ページの「大学入学共通テスト受験教科・科目確認表」で確認を行うなど、必ず本人の責任で確認してください。
- ・なお、同様に「地歴、公民」及び「理科」において、2科目を受験した場合、第1解答科目を各学部学科等が指定した科目の中から選択していない場合も出願無資格で失格となり、個別テスト等の受験はできません。（本学は出願期間終了後に大学入試センターからのデータに基づいてのみ、この確認を行います。）
- ・「地歴、公民」及び「理科」について、各学部学科等が必要とする教科・科目数を超えて受験している場合は、第1解答科目の成績を採用します。
- ・各学部学科等が指定した利用教科・科目の中で複数受験している場合には、各学部学科等が指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を採用します。15ページ～25ページの各選抜方法、各学部学科等のページを参照してください。

【個別テスト等】

- ・数Bは、「数列」を出題範囲とします。
- ・教育学部及び経済学部においては、数Cは、「ベクトル」を出題範囲とします。
- ・理学部、医学部、薬学部、工学部及び都市デザイン学部においては、数Cは、「ベクトル、平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

【大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等】

- ・配点に※印を付してある教科は選択教科を表します。
- ・大学入学共通テストの「数学」又は「理科」で2科目を課す場合は、各学部学科等で採用するとした2科目の得点の合計点を各学部学科等が定めている当該教科の配点に応じてそのまま利用、又は換算します。
- ・大学入学共通テストの「外国語」における英語は、薬学部を除く学部学科等においては、リーディング（100点満点）の得点を160点満点に、リスニング（100点満点）の得点を40点満点に換算し、その合計得点200点満点を各学部学科等が定めている配点に応じてそのまま利用、又は換算します。

薬学部においては、リーディング（100点満点）の得点を140点満点に、リスニング（100点満点）の得点を60点満点に換算し、その合計得点200点満点を所定の配点に換算します。

なお、聴覚障害者のうち、重度難聴者でリスニングの免除を大学入試センターに申請し、許可されたものの大学入学共通テストの「外国語」における英語は、リーディング（100点満点）の得点をそのまま利用、又は各学部学科等が定めている配点に換算します。

また、大学入学共通テストの「外国語」のその他の科目を利用する学部学科等は、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用、又は各学部学科等が定めている配点に換算します。

(3) 実施教科・科目、配点等

【人文学部】

学科名	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別テスト等		大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	配点合計
人文学科	前期	国	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」 } から2 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」, 「数Ⅰ」から1 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物基/化基/生基/地基」, 「物」, 「化」, 「生」, 「地」から1 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔7教科8科目又は6教科8科目〕	国 外	現代の国語・ 言語文化 英コミⅠ・英コミⅡ・英コミⅢ・論 表Ⅰ・論表Ⅱ・ 論表Ⅲ	共通 テスト	200		200	200	100	200	50		950
		個別 テスト等				200				200			400		
		計				400		200	200	100	400	50		1350	
	後期	国	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」 } から2 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」, 「数Ⅰ」から1 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物基/化基/生基/地基」, 「物」, 「化」, 「生」, 「地」から1 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔7教科8科目又は6教科8科目〕	そ の 他	小論文	共通 テスト	200		200	200	100	200	50		950
		個別 テスト等											200	200	
		計				200		200	200	100	200	50	200	1150	

14ページの(2) 大学入学共通テスト及び個別テスト等の教科・科目等についての留意事項も参照。

【教育学部】

課程名	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別テスト等			大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	配点合計
共同教員養成課程	前期	国	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」 「公・倫」, 「公・政経」 ただし, 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」のうち少なくとも1科目を含むこと。 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物基/化基/生基/地基」, 「物」, 「化」, 「生」, 「地」から1 「英(リスニングを含む。)」(必須) 「情Ⅰ」(必須) 〔7教科8科目又は6教科8科目〕	国 数 外	現代の国語・言語文化 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(数列)・数C(ベクトル) 英コミⅠ・英コミⅡ・英コミⅢ・論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ	から1	共通テスト	200	200		200	100	200	50		950
		公民					個別テスト等	※200			※200		※200			200
		数					計	200又は※400	200		200又は※400	100	200又は※400	50		1150
		理					共通テスト	200	100		200	200	200	50		950
	後期	公民	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物」, 「化」, 「生」, 「地」から2 「英(リスニングを含む。)」(必須) 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	その他	面接	約25倍	個別テスト等	※200			※200		※200			200
		数					計	200又は※400	100		200又は※400	200	200又は※400	50		1150
		理					共通テスト	200	200		200	100	200	50		950
		外情					個別テスト等							3段階評価		
	前期	国	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」 「公・倫」, 「公・政経」 ただし, 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」のうち少なくとも1科目を含むこと。 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物基/化基/生基/地基」, 「物」, 「化」, 「生」, 「地」から1 「英(リスニングを含む。)」(必須) 「情Ⅰ」(必須) 〔7教科8科目又は6教科8科目〕	国 数 外	現代の国語・言語文化 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(数列)・数C(ベクトル) 英コミⅠ・英コミⅡ・英コミⅢ・論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ	から1	共通テスト	200	200		200	100	200	50		950
		公民					個別テスト等	※200			※200		※200			200
		数					計	200又は※400	200		200又は※400	100	200又は※400	50		1150
		理					共通テスト	200	100		200	200	200	50		950
	後期	公民	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物」, 「化」, 「生」, 「地」から2 「英(リスニングを含む。)」(必須) 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	その他	面接	約25倍	個別テスト等	※200			※200		※200			200
		数					計	200又は※400	100		200又は※400	200	200又は※400	50		1150
		理					共通テスト	200	200		200	100	200	50		950
		外情					個別テスト等							3段階評価		

14ページの(2)大学入学共通テスト及び個別テスト等の教科・科目等についての留意事項も参照。

<留意事項>

教育学部共同教員養成課程

【学力検査等の区分】欄

- ・募集区分の(Ⅰ)又は(Ⅱ)のいずれかを選択し, 指定された教科・科目等を受験すること。なお, 募集区分(Ⅰ)と(Ⅱ)においては, 大学入学共通テストの「地歴, 公民」, 「理科」の利用パターン及び配点異なる。

【大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等】欄

- ・後期日程の「面接」においては, 3段階評価を行い, 基準に達しない場合は合格対象外とする。

【2段階選抜】欄

- ・所定の倍率を超え, 試験を適切に行うことが困難であると判断される場合, 調査書の内容と大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い, その合格者に対してのみ面接を実施する。

【経済学部】

学科名	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科等	個別テスト等	大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等									
		教科	科目名等		科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	配点合計
経済経営学科	前期募集区分(Ⅰ)	国	「国」(必須) 「地総・地探」,「歴総・日探」, 「歴総・世探」,「地総/歴総/公」 「公・倫」,「公・政経」 ただし,「地総・地探」,「歴総・日探」,「歴総・世探」のうち少なくとも1科目を含むこと。 「数Ⅰ,数A」(必須) 「数Ⅱ,数B,数C」(必須) 「物基/化基/生基/地基」,「物」,「化」, 「生」,「地」から1 「英(リスニングを含む。)」,「独」,「仏」, 「中」,「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔7教科8科目又は6教科8科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(数列)・数C(ベクトル) 英コミⅠ・英コミⅡ・英コミⅢ・論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ	から1	共通テスト	200	200	200	100	200	50		950
		個別テスト等									※300		※300		300
		計					200	200	200又は※500	100	200又は※500	50		1250	
		共通テスト					200	100	300	100	200	50		950	
		個別テスト等									※300		※300		300
		計					200	100	300又は※600	100	200又は※500	50		1250	
	後期募集区分(Ⅱ)	国	「国」 「地総・地探」,「歴総・日探」, 「歴総・世探」,「地総/歴総/公」 「公・倫」,「公・政経」 「情Ⅰ」 「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」から1 「英(リスニングを含む。)」,「独」,「仏」, 「中」,「韓」から1 〔3教科3科目〕	その他	総合問題(英文ならびに社会科学に関する文章・資料・統計等を示し論述させる問題を含む。)	共通テスト	※100	※100	100		100	※100		300	
		個別テスト等											50	50	
		計				※100	※100	100		100	※100	50	350		

14ページの(2)大学入学共通テスト及び個別テスト等の教科・科目等についての留意事項も参照。

<留意事項>

経済学部経済経営学科

【前期日程】

- ・募集区分(Ⅰ)又は(Ⅱ)のいずれかを選択し,指定された教科・科目を受験すること。なお,募集区分(Ⅰ)と(Ⅱ)においては,大学入学共通テストの「地歴,公民」,「数学」の配点が異なる。
- ・募集区分(Ⅱ)を選択した場合,「地歴,公民」については,1科目50点満点に換算し,「数学」については,数学①,数学②の合計点を300点満点に換算する。

【後期日程】

- ・「数学」については,数学①,数学②のいずれか高得点の科目を採用する。また,「国語」,「地歴,公民」の第1解答科目,「情報」のいずれか高得点の教科・科目を採用する。なお,「国語」については,100点満点に換算したうえで,指定した教科・科目の中から高得点の成績を採用する。
- ・個別テストの「総合問題」については,社会科学に関する文章・資料・統計等を示し論述させる。なお,その際に示される文章・資料等には英文が含まれる。

【理学部】

学科名	学力検査等の区分			大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別テスト等		大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等								
				教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
理学科	前期募集区分(Ⅰ)	数学	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」, 「地総/歴総/公」 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物」, 「化」, 「生」, 「地」から2 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)	共通テスト	200	100	200	200	200	50	950		
							個別テスト等			500			500			
							計	200	100	700	200	200	50	1450		
		数学, 物理			数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面) 物基・物	共通テスト	200	100	200	200	200	50	950		
							個別テスト等			200	300			500		
							計	200	100	400	500	200	50	1450		
		数学, 化学			数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面) 化基・化	共通テスト	200	100	200	200	200	50	950		
							個別テスト等			200	300			500		
							計	200	100	400	500	200	50	1450		
		数学, 生物			数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面) 生基・生	共通テスト	200	100	200	200	200	50	950		
							個別テスト等			200	300			500		
							計	200	100	400	500	200	50	1450		
	募集区分(Ⅱ)	数学又は理科			数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面) 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地	共通テスト	200	100	200	200	◎250	50	1000		
							個別テスト等			○400	○400			400		
							計	200	100	200又は○600	200又は○600	◎250	50	1400		
後期募集区分(Ⅰ)	数学	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国」 「地総・地探」, 「歴総・日探」 「歴総・世探」, 「地総/歴総/公」 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物」, 「化」, 「生」, 「地」から1 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔5教科6科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)	共通テスト	※100	※100	100	100	100	50	450			
						個別テスト等			600				600			
						計	※100	※100	700	100	100	50	1050			
	物理			理	物基・物	共通テスト	※100	※100	100	100	100	50	450			
						個別テスト等				600			600			
						計	※100	※100	100	700	100	50	1050			
	化学			理	化基・化	共通テスト	※100	※100	100	100	100	50	450			
						個別テスト等				600			600			
						計	※100	※100	100	700	100	50	1050			
	生物			理	生基・生	共通テスト	※100	※100	100	100	100	50	450			
						個別テスト等				600			600			
						計	※100	※100	100	700	100	50	1050			

学科名	学力検査等の区分			大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別テスト等		大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等								
						教科等	科目名等	試験の 区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点 合計
理学科	後期 募集 区分 (Ⅱ)	数学 又は 理科	数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」(必須) 「数Ⅱ、数B、数C」(必須) 「物」、「化」、「生」、「地」から1 「英(リスニングを含む。）」、「独」, 「仏」、「中」、「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔4教科5科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数 A・数B(数列)・数C (ベクトル、平面上の 曲線と複素数平面) 物基・物、 化基・化、 生基・生	から 1	共通 テスト				100	100	◎250	50	500
								個別 テスト等				○500	○500			500
								計				100 又は ○600	100 又は ○600	◎250	50	1000

14ページの(2)大学入学共通テスト及び個別テスト等の教科・科目等についての留意事項も参照。

<留意事項>

理学部

【学科名】欄

理学科の前期日程・後期日程においては、理学科全体で募集を行う。

【大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等】欄

※ 後期日程 募集区分(Ⅰ)においては、大学入学共通テストの「国語」、「地歴、公民」の第1解答科目のいずれか高得点の教科・科目を採用する。なお、「国語」については、100点満点に換算したうえで、指定した教科・科目の中から高得点の成績を採用する。

◎ 募集区分(Ⅱ)において、本学が指定する英語資格・検定試験を受験している場合は、以下の「英語資格・検定試験換算表」による換算点を大学入学共通テスト「外国語」(250点満点)の得点に加えることとする。ただし、換算点を加えた点数が250点を超えた場合は、大学入学共通テスト「外国語」の点数は250点とする。

○ 出願時に選択した数学又は理科の得点を評価する。

英語資格・検定試験換算表

換算点	実用英語技能検定(*1)	GTEC(*2)	TOEFL iBT(*3)		TOEIC L&R及びTOEIC S&W(*4)(*5)	TEAP	IELTS(*6)	ケンブリッジ英語検定(*7)
			(2026年1月20日までに受験)	(2026年1月21日以降に受験)				
50点	2300以上	1180以上	72以上	4以上	1560以上	309以上	5.5以上	160以上
45点	1950以上	930以上	42以上	3以上	1150以上	225以上	4.0以上	140以上
30点	1700以上	680以上	—	2以上	625以上	135以上	—	120以上

以上のすべての英語資格・検定試験については、令和6年度(2024年度)以降に受験した成績で、かつ、出願期間最終日に有効なオフィシャルスコアに限る。また、出願時にスコア証明書等の提出を求める。複数の英語資格・検定試験の成績を有している場合は、換算点の得点が最も高くなる1つを提出すること。

- (※1) 実用英語技能検定については、従来型の「英検」(本会場実施、準会場実施)に加え、「英検S-CBT」「英検 S-Interview」の成績も利用できることとする。
- (※2) GTEC(Core / Basic / Advancedタイプ及びCBTタイプ)の成績は、オフィシャルスコアのみ認める(OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る)。「アセスメント版」での受験成績は利用不可とする。
- (※3) TOEFL iBT スコアはTest Dateスコアを利用する。
- (※4) TOEIC(L&R及びS&W)は、「公開テスト」を受験した成績に限る。
- (※5) TOEIC L&R(990点満点)及びTOEIC S&W(400点満点)については、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にした合算スコアを用いる。なお、TOEIC L&RとTOEIC S&Wのうち、1つのみ受験し、表中の得点を取得している場合も利用できることとする。
- (※6) IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え、「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できることとする。
- (※7) ケンブリッジ英語検定では、「リンガスキル(4技能CBT)」の受験成績は利用不可とする。

【医学部】

学科名	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別テスト等		大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等											
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	配点合計
医学科	前期	国	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」, 「地総/歴総/公」 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物」, 「化」, 「生」から2 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)	約5倍	共通テスト	200		100	200	200	200	100			1000
		公民					個別テスト等				200	物理, 化学, 生物 100 100	200			100	700
		理外情						計	200		100	400	400	400	100		100
看護学科	前期	国	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」, 「地総/歴総/公」 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」, 「数Ⅰ」から1 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物基/化基/生基/地基」, 「物」, 「化」, 「生」, 「地」から1 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科7科目〕	外	英コミⅠ・英コミⅡ・英コミⅢ・論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ	/	共通テスト	200		100	100	100	200	100			800
		公民		その他	小論文(論理的思考力と文章表現力を評価する。)		個別テスト等						200		100		300
		理外		その他	小論文(論理的思考力と文章表現力を評価する。)		計	200		100	100	100	400	100	100		1100
	後期	情	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」, 「地総/歴総/公」 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」, 「数Ⅰ」から1 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物基/化基/生基/地基」, 「物」, 「化」, 「生」, 「地」から1 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科7科目〕	その他	小論文(論理的思考力と文章表現力を評価する。)	/	共通テスト	200		100	100	100	200	100			800
				その他	面接(思考力, 協調性, 積極性, 将来性を評価する。)		個別テスト等								100	100	200
				その他	面接(思考力, 協調性, 積極性, 将来性を評価する。)		計	200		100	100	100	100	200	100	100	100

14ページの(2)大学入学共通テスト及び個別テスト等の教科・科目等についての留意事項も参照。

<留意事項>

医学部

【大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等】欄

面接の配点は書類審査を含む。

【2段階選抜】欄

所定の倍率を超え、試験を適切に行うことが困難であると想定される場合、大学入学共通テストの成績により第1段階の選抜を行い、その合格者に対してのみ個別テスト等を実施する。

【薬学部】

学科名	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別テスト等		大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等													
						試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	配点合計			
		教科	科目名等	教科等	科目名等														
薬学科	前期	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国」(必須) 「地総・地探」,「歴総・日探」, 「歴総・世探」,「地総/歴総/公」 「公・倫」,「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「化」(必須)と「物」,「生」から1 「英(リスニングを含む。)」(必須) 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面) 物基・物 化基・化	共通テスト	100		50	200		100	300	50			800		
						個別テスト等					200	物理	化学					600	
											200	200							
	後期				その他	小論文(科学的思考力と文章表現力を評価する。)	共通テスト	100		50	300		300	300	50			1100	
							個別テスト等									150	80	230	
							計	100		50	400		500	300	50			1400	
創薬科学科	前期	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国」(必須) 「地総・地探」,「歴総・日探」, 「歴総・世探」,「地総/歴総/公」 「公・倫」,「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「化」(必須)と「物」,「生」から1 「英(リスニングを含む。)」(必須) 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面) 物基・物 化基・化	共通テスト	100		50	200		100	300	50			800		
						個別テスト等					200	物理	化学					600	
											200	200							
	後期				その他	小論文(科学的思考力と文章表現力を評価する。)	共通テスト	100		50	300		300	300	50			1100	
							個別テスト等										150	80	230
							計	100		50	300		300	300	50	150	80	1330	

14ページの(2) 大学入学共通テスト及び個別テスト等の教科・科目等についての留意事項も参照。

【工学部】

学科等名		学力検査等の区分		大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別テスト等		大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等									
						教科等	科目名等	試験の 区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	配点 合計
工学科	電気電子工 学コース	前期	募集 区分 (Ⅰ)	国 地歴	「国」(必須) 「地総・地探」,「歴総・日探」, 「歴総・世探」,「地総/歴総/公」 「公・倫」,「公・政経」 「数Ⅰ,数A」(必須) 「数Ⅱ,数B,数C」(必須) 「物」(必須)と「化」,「生」から1 「英(リスニングを含む。)」,「独」, 「仏」,「中」,「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B(数列)・数C(ベクト ル,平面上の曲線と複 素数平面) 物基・物 化基・化 } から1	共通 テスト	100	100	200	200	200	100		900	
				個別 テスト等							200	200				400	
		募集 区分 (Ⅱ)	理 外 情	理		計		100	100	400	400	200	100		1300		
			共通 テスト			50		50	100	100	100	50		450			
		後期	理 外 情	理		個別 テスト等					400	400				800	
						計		50	50	500	500	100	50		1250		
	知能情報 工学コース	前期	募集 区分 (Ⅰ)	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国」(必須) 「地総・地探」,「歴総・日探」, 「歴総・世探」,「地総/歴総/公」 「公・倫」,「公・政経」 「数Ⅰ,数A」(必須) 「数Ⅱ,数B,数C」(必須) 「物」,「化」,「生」から2 「英(リスニングを含む。)」,「独」, 「仏」,「中」,「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B(数列)・数C(ベクト ル,平面上の曲線と複 素数平面) 物基・物 化基・化 } から1	共通 テスト	100	50	200	150	300	150		950	
								個別 テスト等				100	100				200
								計	100	50	300	250	300	150		1150	
		後期	理 外 情	理		共通 テスト		100	100	300	200	200	100		1000		
						個別 テスト等								200	200		
						計		100	100	300	200	200	100	200	1200		
機械工学 コース	前期	募集 区分 (Ⅰ)	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国」(必須) 「地総・地探」,「歴総・日探」, 「歴総・世探」,「地総/歴総/公」 「公・倫」,「公・政経」 「数Ⅰ,数A」(必須) 「数Ⅱ,数B,数C」(必須) 「物」(必須)と「化」,「生」から1 「英(リスニングを含む。)」,「独」, 「仏」,「中」,「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数 A・数B(数列)・数C (ベクトル,平面上の曲 線と複素数平面) 物基・物 化基・化 } から1	共通 テスト	100	100	200	200	200	100		900		
							個別 テスト等				200	200				400	
							計	100	100	400	400	200	100		1300		
	後期	理 外 情	理		共通 テスト		100	100	300	200	200	100		1000			
					個別 テスト等								200	200			
					計		100	100	300	200	200	100	200	1200			

14ページの(2)大学入学共通テスト及び個別テスト等の教科・科目等についての留意事項及び23ページの留意事項も参照。

学科等名		学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科等	個別テスト等	大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等									
			教科	科目名等		科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	配点合計
工学科	生命工学コース	前期	国	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」, 「地総/歴総/公」 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「化」(必須)と「物」, 「生」から1 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面) 物基・物 化基・化 } から1	共通テスト	100		50	200	200	200	50		800
			公民				個別テスト等				200	200				400
			数				計	100		50	400	400	200	50		1200
		後期	国	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」, 「地総/歴総/公」 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物」, 「化」, 「生」から2 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	その他	小論文	共通テスト	25		25	350	350	200	50		1000
			公民				個別テスト等								200	200
			数				計	25		25	350	350	200	50	200	1200
	応用化学コース	前期	国	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」, 「地総/歴総/公」 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「化」(必須)と「物」, 「生」から1 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面) 物基・物 化基・化 } から1	共通テスト	100		50	200	200	200	50		800
			公民				個別テスト等				200	200				400
			数				計	100		50	400	400	200	50		1200
		後期	国	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」, 「地総/歴総/公」 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物」, 「化」, 「生」から2 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	その他	小論文	共通テスト	100		50	200	400	200	50		1000
			公民				個別テスト等								200	200
			数				計	100		50	200	400	200	50	200	1200

14ページの(2) 大学入学共通テスト及び個別テスト等の教科・科目等についての留意事項も参照。

<留意事項>

工学部

【学科等名】欄

工学科の前期日程・後期日程においては、工学科全体で募集を行う。

コース選択及び決定方法については「8 出願手続(3) 出願内容登録の補足」の工学部にかかる記載(33ページ)も参照のこと。

【学力検査等の区分】欄

工学科電気電子工学コースの前期日程においては、募集区分(I)又は(II)のいずれかを選択し、指定した教科・科目等を受験すること。

【芸術文化学部】

学科名	学力検査等の区分		大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別テスト等		大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等														
			教科等	科目名等	試験の 区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技	配点 合計						
芸術文化 学科	前期	募集 区分 a	国 地歴	「国」(必須) 「地総・地探」,「歴総・日探」, 「歴総・世探」,「地総/歴総/公」 「公・倫」,「公・政経」 「数Ⅰ,数A」,「数Ⅰ」 「数Ⅱ,数B,数C」 「物基/化基/生基/地基」,「物」, 「化」,「生」,「地」 「情Ⅰ」 「英(リスニングを含む。)」,「独」,「仏」,「中」, 「韓」から1 〔3教科3科目〕	から 1	そ の 他	実技検査 (注)	共通 テスト	200	※100	※100	※100	200	※100			500				
			公民 数					個別 テスト等							500	500					
			理 情 外					計	200	※100	※100	※100	200	※100		500	1000				
		募集 区分 b	国 地歴					「国」(必須) 「地総・地探」,「歴総・日探」, 「歴総・世探」,「地総/歴総/公」 「公・倫」,「公・政経」 「数Ⅰ,数A」,「数Ⅰ」から1 「数Ⅱ,数B,数C」 「物基/化基/生基/地基」,「物」, 「化」,「生」,「地」から1 「情Ⅰ」 「英(リスニングを含む。)」,「独」,「仏」,「中」, 「韓」から1 〔5教科6科目又は6教科6科目〕	から 1	そ の 他	小論文	共通 テスト	200	100 又は ※200	※100	200	※100			800	
			公民 数									個別 テスト等					200		200		
			理 情 外									計	200	100 又は ※200	※100	200	※100	200		1000	
	後期	募集 区分 a	国 地歴	「国」 「地総・地探」,「歴総・日探」, 「歴総・世探」,「地総/歴総/公」 「公・倫」,「公・政経」 「数Ⅰ,数A」,「数Ⅰ」 「数Ⅱ,数B,数C」 「物基/化基/生基/地基」,「物」, 「化」,「生」,「地」 「情Ⅰ」 「英(リスニングを含む。)」,「独」,「仏」,「中」, 「韓」から1 〔2教科2科目〕	から 1	そ の 他	実技検査 (注)					共通 テスト	※200	※200	※200	※200	200	※200			400
			公民 数									個別 テスト等							400	400	
			理 情 外									計	※200	※200	※200	※200	200	※200		400	800
		募集 区分 b	国 地歴					「国」 「地総・地探」,「歴総・日探」, 「歴総・世探」,「地総/歴総/公」 「公・倫」,「公・政経」 「数Ⅰ,数A」,「数Ⅰ」から1 「数Ⅱ,数B,数C」 「物基/化基/生基/地基」,「物」 「化」,「生」,「地」から1 「情Ⅰ」 「英(リスニングを含む。)」,「独」,「仏」,「中」, 「韓」から1 〔3教科3科目又は2教科3科目〕	から 1	そ の 他	小論文	共通 テスト	※200	※200	※200 又は ※400	※200	200	※200			600
			公民 数									個別 テスト等						300		300	
			理 情 外									計	※200	※200	※200 又は ※400	※200	200	※200	300		900

14ページの(2) 大学入学共通テスト及び個別テスト等の教科・科目等についての留意事項も参照。

＜留意事項＞

芸術文化学部

【学力検査等の区分】欄

・前期日程・後期日程においては、募集区分のa又はbのいずれかを選択し、指定された教科・科目等を受験すること。

【大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等】欄

＜前期日程＞

【募集区分a】「地歴、公民」の第1解答科目、「数学」の数学①、数学②、「理科」の第1解答科目、「情報」のいずれか高得点の教科・科目を採用する。

【募集区分b】「数学」の数学②、「理科」の第1解答科目、「情報」のうち、高得点の順に教科・科目を採用する。

＜後期日程＞

【募集区分a】「国語」、「地歴、公民」の第1解答科目、「数学」の数学①、数学②、「理科」の第1解答科目、「情報」のいずれか高得点の教科・科目を採用する。なお、「地歴、公民」、「数学」、「理科」及び「情報」については、1科目200点満点に換算したうえで、指定した教科・科目の中から高得点の成績を採用する。

【募集区分b】「国語」、「地歴、公民」の第1解答科目、「数学」の数学①、数学②、「理科」の第1解答科目、「情報」のうち、高得点の順に教科・科目を採用する。なお、「地歴、公民」、「数学」、「理科」及び「情報」については、1科目200点満点に換算したうえで、指定した教科・科目の中から高得点の成績を採用する。

【個別テスト等】欄

(注) 実技検査の内容は、26ページを参照すること。

【都市デザイン学部】

学科名	学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別テスト等		大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等																				
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	配点合計											
地球システム科学科	前期	国 地歴	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」, 「地総/歴総/公」 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物」, 「化」, 「生」, 「地」から2 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B(数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面) 物基・物 化基・化 生基・生 地基・地	共通 テスト	200	100	200	200	200	50			950											
		公民 数														「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物」, 「化」, 「生」, 「地」から2 又は ②「物基/化基/生基/地基」, 及び 「物」, 「化」, 「生」, 「地」から1。 ただし, 「物基/化基/生基/地基」において選択した2つの出題範囲と同一名称を付した科目の選択は認めない。 (例:「物理基礎」と「物理」) 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	共通 テスト等	200	300		500	200	50	1450		
		理 外 情																							計	200
	後期	数 理	「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) ①「物」, 「化」, 「生」, 「地」から2 又は ②「物基/化基/生基/地基」, 及び 「物」, 「化」, 「生」, 「地」から1。 ただし, 「物基/化基/生基/地基」において選択した2つの出題範囲と同一名称を付した科目の選択は認めない。 (例:「物理基礎」と「物理」) 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔4教科6科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B(数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)	共通 テスト				120	300	200	30		650											
公民 数		共通 テスト等														200						200	300	200	30	850
理 外 情																										
都市・交通デザイン学科	前期	国 地歴	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」, 「地総/歴総/公」 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物」(必須)と「化」, 「生」, 「地」から1 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	数 理 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B(数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面) 面接(都市デザイン学を学ぶための適性や意欲を評価する。)	共通 テスト	100	100	200	200	200	100			900											
		公民 数														共通 テスト等	400					400	800			
		理 外 情																						計	100	100
		後期	数 理	「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物」(必須)と「化」, 「生」, 「地」から1 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	数 理 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B(数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面) 面接(都市デザイン学を学ぶための適性や意欲を評価する。)	共通 テスト	100	100	200	200	200	100		600	800										
	公民 数		共通 テスト等														200					600	800			
	理 外 情																							計	100	100
材料デザイン工学科	前期	国 地歴	「国」(必須) 「地総・地探」, 「歴総・日探」, 「歴総・世探」, 「地総/歴総/公」 「公・倫」, 「公・政経」 「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物」(必須)と「化」(必須) 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔6教科8科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B(数列)・数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面) 物基・物 化基・化	共通 テスト	50	50	400	400	400	50			1350											
		公民 数														共通 テスト等	400	400				800				
		理 外 情																					計	50	50	800
	後期	数 理 外 情	「数Ⅰ, 数A」(必須) 「数Ⅱ, 数B, 数C」(必須) 「物」(必須)と「化」(必須) 「英(リスニングを含む。)」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1 「情Ⅰ」(必須) 〔4教科6科目〕	その他	面接(材料を学ぶための適性や意欲を評価する。)	共通 テスト				400	400	200	20	100	1020											
公民 数		共通 テスト等																			100	100				
理 外 情																							計			

14ページの(2) 大学入学共通テスト及び個別テスト等の教科・科目等についての留意事項も参照。

7 実技検査の内容

芸術文化学部

前期日程，後期日程【募集区分 a】

区 分	検 査 内 容
実 技 検 査	<p>鉛筆デッサン〔3時間（180分間）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答用紙〔画用紙（B3）〕にモチーフをデッサンする。 <p>実技検査当日に持参する用具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆デッサン用具一式 （実技検査当日に持参してはいけない用具） ・音の出るもの ・タブレット等の電子機器 ・カメラ ・クロッキー帳，スケッチブック ・フィキサチーフ等定着剤 ・周囲へ迷惑のかかるもの（周囲を汚損するもの，臭いの出るもの等） <p>（注）解答用紙及び画板は，大学側で用意する。</p>

8 出願手続

出願はインターネット出願のみとします。出願手続は、インターネット出願サイトでの出願登録及び検定料の支払いを行った後、出願期間内に必要な書類等を書留速達郵便で郵送することにより完了します。以下の「インターネット出願の流れ」をよく読み、手続を行ってください。

インターネット出願の流れ



事前準備

31 ページを参照してください。

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
スマートフォン、タブレットをご利用の場合各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。
(iOS 12 以上、Android OS 8 以上、iPadOS 13 以上)

必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、
出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※ N 8 ◆ ㊦ 8 ▼ ● J △ ≥



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出 願 サイト ▶

<https://e-apply.jp/ds/toyama-u/>

または、

大学ウェブサイト ▶

<https://www.u-toyama.ac.jp/>

からアクセス



出願はインターネット出願サイトでの登録完了後(STEP2)、検定料を支払い(STEP3)、必要書類を印刷・郵送(STEP4、STEP5)して完了となります。登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願書類は出願期間最終日17時必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

1

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP2に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
「マイページへ」を
クリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、「出願手続きを行う」ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので「ログアウト」ボタンをクリックしてください。

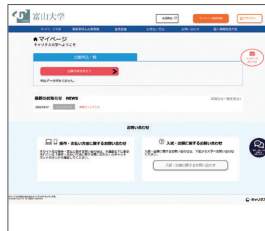
STEP

2



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
「出願手続きを行う」ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



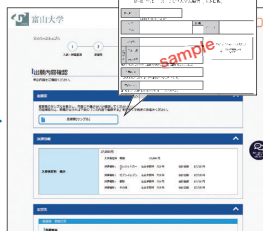
③志望学部等の選択
33-34ページも参照してくだ
さい。



④顔写真のアップロード
「写真選択へ」ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



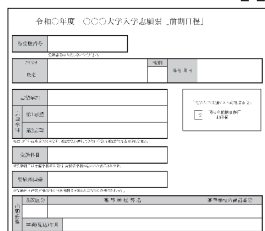
⑥出願内容の確認
「志願票(サンプル)」ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。
カナ氏名、大学入学共通テ
スト出願サイトの「ユーザ
ID(メールアドレス)・
パスワード」及び「申込番
号」を入力し、成績請求情
報の提供手続を行う。



⑦申込登録完了
「引き続き支払う」ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

出願受付番号
メモ(12桁)

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

3

検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願登録内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

ウェブで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

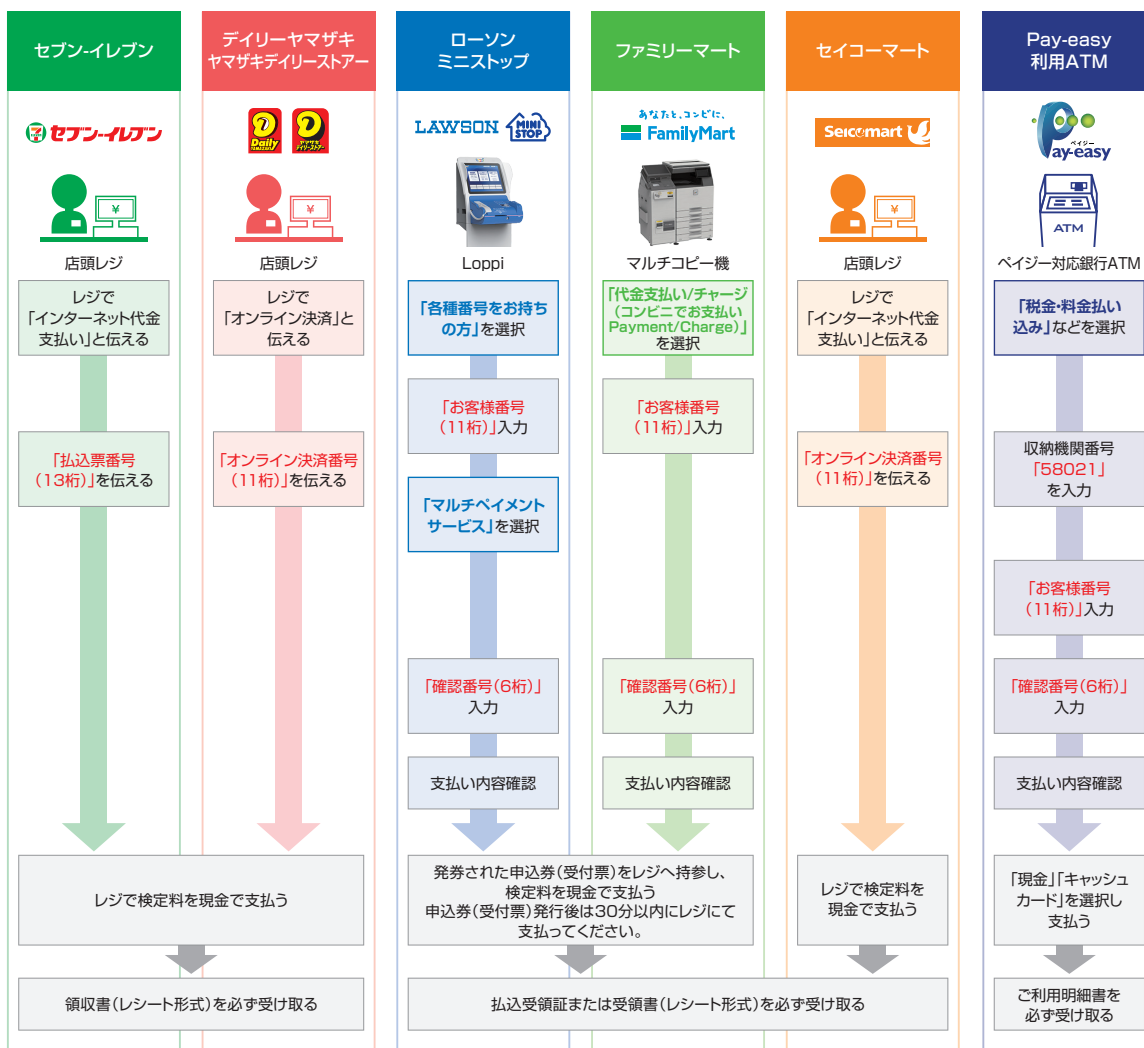
出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、
内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



必要書類の印刷

4

「出願内容の確認／志願票の印刷」ボタンからログインし、
志願票等必要書類を **A4用紙にカラー印刷**
してください。

[illegible]

志願票PDF(イメージ)

Screenshot of the MyPage (マイページ) interface on the Kansai University website. The page shows a header with the university logo and navigation links. The main content area is titled 'マイページ' and includes a 'プロフィール' (Profile) section with fields for name, email, and phone number. There are also links for 'パスワード変更' (Change Password) and 'マイページ設定' (MyPage Settings). A red box highlights the 'パスワード変更' link. A red circle with a plus sign is in the top right corner. A red circle with a plus sign is in the bottom right corner.

STEP

5

出願書類の郵送

登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願に必要な書類を出願期間内に郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。

出願に必要な書類は、本学生募集要項の 35～36 ページを参照して準備してください。

<出願書類到着期限>

令和9年2月3日（水）17時必着

※ただし、2月2日（火）消印有効



出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

宛名シートを市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に貼り付けてください。

※一旦受理した検定料・出願書類は、募集要項で明記している理由によるものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

※受理についての電話等による問い合わせには一切応じません。

STEP

6

受験票の印刷

39 ページを参照してください。

受験票等発行日以降に、インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。「受験票の印刷」ボタンからログインし、印刷してください。

受験票は必ずA4用紙にカラー印刷して、試験当日に持参してください。

The screenshot shows the homepage of the Nihon University English Center. At the top, there's a navigation bar with links for 'HOME', 'ABOUT US', 'CONTACT', and 'ENGLISH CENTER'. Below this, the main content area features a 'マイページ' (My Page) link and a '英語検定' (English Proficiency Test) section. The test section includes a '英語検定' button and a '英語検定' button. The footer contains contact information for the English Center.

■インターネット出願サイトの操作方法・検定料の支払い方法に関する問い合わせ先
株式会社キャリアス「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター
TEL:0120-202079 平日24時間受付(土日祝休・年末年始休み)

(1) 事前準備

書類等	摘 要
利用環境	<p>PC利用時の推奨ブラウザは、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 <p>※ ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行いますと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作は控えてください。</p> <p>前画面へ戻る場合はブラウザの「戻る」ボタンは利用せず、画面内に表示されている「戻る」ボタンを利用してください。</p> <p>スマートフォン、タブレット利用時の推奨ブラウザは、次に示すOSの標準ブラウザです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iOS 12 以上 ・Android OS 8 以上 ・iPadOS 13 以上 <p>※ お使いのブラウザで表示が崩れることがありましたら、他のブラウザにて確認ください。</p> <p>※ Androidのスマートフォンからの操作でChromeのPC版からはPDFの表示ができない場合がありますので、モバイル版を利用ください。</p>
PDF表示・印刷ソフトウェア	<p>入学志願票(PDF)の表示・印刷にはアドビシステムズ社が配布しているAdobe Acrobat Reader（無償）が必要です。</p>
メールアドレス	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。</p> <p>なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p>@e-apply.jp</p> <p>スマートフォン・携帯電話の通信会社から発行されるメールアドレスを登録される方は、各通信会社の迷惑メールフィルターの解除方法に従って、@e-apply.jpからのメールが届くように設定してください。</p>
本人写真	<p>出願にあたって顔写真データ（ファイル形式（jpeg, jpg, png, bmp）、最大10 MBまで）を用意してください。</p> <p>写真の大きさは縦4：横3の比率を推奨します。</p> <p>写真は本人確認に使用します。</p> <p>出願前3ヶ月以内に撮影した正面、上半身、無帽、背景なし、の写真データ（カラー）を用意してください。</p> <p>【使用できない写真の例】</p> <p>不鮮明（ぼやけている、影がある）、無背景でない（背景に風景が写っている、背景に模様がある）、化粧や前髪が目にかかるなど本人確認が困難、写真に加工を施している、現像された写真を再撮影しているなど</p>
大学入学共通テスト出願サイトの「申込番号」等	<p>大学入学共通テスト成績請求情報の提供手続は、「Web 方式」を利用します。</p> <p>大学入学共通テスト出願サイトの「ユーザID（メールアドレス）・パスワード」及び「申込番号」を用意してください。</p> <p>なお、成績請求情報の提供手続の取消は認めません。</p>

プリンター	入学志願票及び受験票（PDF）を出力するため、A4 普通紙に印刷することができるカラープリンターが必要です。 印刷用紙（普通紙・PPC用紙・OA共通用紙・コピー用紙等）とともに用意してください。自宅にプリンターがない場合は、学校やコンビニエンスストア等、印刷ができる環境を確認してください。
角 2 封筒	入学志願票等の出願書類を郵送するため、市販の角形 2 号封筒（240 mm×332 mm）を用意してください。入学志願票を印刷した際に出力される「宛名シート」を封筒に貼り付けて使用してください。

(2) 出願期間

令和 9 年 1 月 25 日（月）～ 2 月 3 日（水） 17 時

インターネット出願の登録と検定料の納入は、1 月 22 日（金）10 時から可能です。

出願に必要な書類（35～36 ページ）は出願期間内に必着するように**書留速達郵便（国外から郵送する場合は、EMS 等追跡可能な手段）**で郵送してください。持参による出願は認めません。郵便事情を考慮して余裕をもって郵送してください。

出願期間後に到着したものは受理しないので注意してください。

ただし、**2 月 2 日（火）までの消印**（日本国内の郵便の消印に限る。）のある**書留速達郵便**に限り、出願期間以降に到着した場合でも受理します。

なお、書留速達郵便で送付した出願封筒について、本学への到着（配達）の有無の問い合わせには応じません。日本郵便ウェブサイトの「郵便追跡サービス」により、志願者本人が確認してください。

(3) 出願内容登録の補足

28 ページの STEP 2 の出願内容の登録は、選抜区分ごとに行ってください。

【前期日程】

志望する学部ごとに次のとおり登録してください。

○ 人文学部

人文学科を選択してください。第 1 志望のみ選択できます。

○ 教育学部

共同教員養成課程を選択してください。第 1 志望のみ選択できます。

募集区分の（Ⅰ）又は（Ⅱ）のいずれかを選択してください。

選択科目の「国語」、「英語」又は「数学」のいずれかを選択してください。

○ 経済学部

経済経営学科を選択してください。第 1 志望のみ選択できます。

募集区分の（Ⅰ）又は（Ⅱ）のいずれかを選択してください。

選択科目の「英語」又は「数学」のいずれかを選択してください。

○ 理学部

理学科を選択してください。第 1 志望のみ選択できます。

募集区分の（Ⅰ）又は（Ⅱ）のいずれかを選択してください。

（ア）募集区分（Ⅰ）を選択する場合は、選択科目の「数学」「数学、物理」「数学、化学」「数学、生物」の教科・科目の組み合わせからいずれかを選択してください。

募集区分（Ⅱ）を選択する場合は、選択科目の「数学」「物理」「化学」「生物」「地学」から 1 科目を選択してください。また、利用する英語資格・検定試験の種類と該当するスコアを選択してください。

（イ）希望受験地を選択してください。

○ 医学部

学科を選択してください。第 1 志望のみ選択できます。

医学科に出願する場合は、選択科目の「物理」「化学」「生物」から2科目を選択してください。

○ 薬学部

学科を選択してください。第1志望のみ選択できます。

○ 工学部

工学科及びコースを選択してください。ただし、電気電子工学コースにおいては、募集区分(I)又は(II)のいずれかを選択してください。

コース（電気電子工学コース募集区分(II)志望の場合を除く。）は、次の志望グループ①～③のいずれかから志望するコースを選択してください。グループ①及び③のコースを選択する場合は、必ず第2志望まで選択してください。

(ア) 選択科目の「物理」「化学」から1科目を選択してください。

(イ) 希望受験地を選択してください。

グループ	志望コース	共通テストにおける「理科」の科目	個別テストにおける「理科」の選択科目	コースの志望方法
①	電気電子工学コース 募集区分(I) 機械工学コース	<u>物理（必須）と化学 又は生物から1科目</u>	物理又は化学	必ず第2志望まで選択してください。
②	知能情報工学コース	<u>物理，化学，生物から2科目</u>	物理又は化学	第1志望のみ選択できます。
③	生命工学コース 応用化学コース	<u>化学（必須）と物理 又は生物から1科目</u>	物理又は化学	必ず第2志望まで選択してください。

グループ①及び③では、合格者の所属コースは第1志望を優先して決定されます。

ただし、各コースの第1志望合格者数が、受入予定者数を超える場合は、第2志望のコースに決定されることがあります。

○ 芸術文化学部

芸術文化学科を選択してください。第1志望のみ選択できます。

募集区分の「a」又は「b」のいずれかを選択してください。

○ 都市デザイン学部

学科を選択してください。第1志望のみ選択できます。

(ア) 地球システム科学科に出願する場合は、選択科目の「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目を選択してください。

(イ) 材料デザイン工学科に出願する場合は、選択科目の「物理」又は「化学」のいずれかを選択してください。

(ウ) 地球システム科学科・材料デザイン工学科に出願する場合は、希望受験地を選択してください。

【後期日程】

志望する学部ごとに次のとおり登録してください。

○ 人文学部

人文学科を選択してください。第1志望のみ選択できます。

○ 教育学部

共同教員養成課程を選択してください。第1志望のみ選択できます。

募集区分の（I）又は（II）のいずれかを選択してください。

- **経済学部**
経済経営学科を選択してください。第1志望のみ選択できます。
- **理学部**
理学科を選択してください。第1志望のみ選択できます。
募集区分の（Ⅰ）又は（Ⅱ）のいずれかを選択してください。
募集区分（Ⅰ）を選択する場合は、選択科目の「数学」「物理」「化学」「生物」から1科目を選択してください。
募集区分（Ⅱ）を選択する場合は、選択科目の「数学」「物理」「化学」「生物」から1科目を選択してください。また、利用する英語資格・検定試験の種類と該当するスコアを選択してください。
- **医学部及び薬学部**
学科を選択してください。第1志望のみ選択できます。
- **工学部**
工学科及びコースを選択してください。第1志望のみ選択できます。
- **芸術文化学部**
芸術文化学科を選択してください。第1志望のみ選択できます。
募集区分の「a」又は「b」のいずれかを選択してください。
- **都市デザイン学部**
学科を選択してください。第1志望のみ選択できます。

(4) 検定料

17,000円

検定料の支払いは、28ページのSTEP 2の出願内容の登録完了後に行います。本学の「インターネット出願サイト（<https://e-apply.jp/ds/toyama-u/>）」から出願し、志願者登録完了後、検定料決済を行ってください。検定料の支払方法は、29ページのSTEP 3の検定料の支払いにより確認してください。検定料支払い後に、入学志願票を印刷することが可能になります。

なお、検定料の支払いには、別途手数料が必要です。手数料は支払人負担となります。

また、災害による被災者に対して検定料免除の制度があります。詳細は本学のウェブサイト参照してください。

一旦、受理した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料の返還請求ができる場合及び返還額

ア 検定料を払い込んだが富山大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合〔返還額〕17,000円

イ 検定料を二重に払い込んだ場合〔返還額〕17,000円

ウ 検定料を多く払い込んだ場合〔返還額〕多く払い込んだ額

エ 富山大学へ出願受付後に、本学が課す大学入学共通テスト受験科目の不足等により出願無資格者であることが判明した場合〔返還額〕13,000円

オ 教育学部後期日程又は医学部医学科前期日程へ出願した者で、2段階選抜を実施したことに伴い、第1段階選抜で不合格となった場合〔返還額〕13,000円
ただし、返還時の振込手数料は、（オ）を除いて受取人負担とします。

② 返還請求の方法

別添の「検定料返還請求書」に必要事項を記入し、本学へ郵送してください。

送付先：〒930-8555 富山市五福3190 富山大学財務施設部経理第一課 TEL (076) 445-6053

(5) 出願に必要な書類等

志願者は、必要書類を「宛名シート」を貼付した封筒に入れ、書留速達郵便（国外から郵送する場合は、EMS等追跡可能な手段）で送付してください。出願書類の送付は、29ページのSTEP 3 の検定料の支払いが完了した後にいきます。

なお、書留速達郵便で送付した出願封筒について、本学への到着（配達）の有無の問い合わせには応じません。日本郵便ウェブサイトの「郵便追跡サービス」により、志願者本人が確認してください。

①インターネット出願サイトから印刷する書類

【前期日程】 【後期日程】

出願書類等 (掲載ページ)	提出者	摘 要
入学志願票 (69～70ページ※)	全員	インターネット出願サイトから A 4 サイズでカラー印刷してください。 検定料の支払い後に、印刷が可能となります。
宛名シート (71～72ページ※)	全員	インターネット出願サイトから A 4 サイズでカラー印刷してください。 市販の角形 2 号封筒 (240 mm×332 mm) に剥がれないように貼付してください。

印字されている内容に誤りがないか必ず確認してください。

※本募集要項では見本を掲載

②志願者が準備する書類

【前期日程】

出願書類等	提出者	摘 要
調査書	全員	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください（令和 8 年度に作成された調査書を提出してください）。原則として、A 4 版表裏の両面を使って作成してください。枚数は両面 1 枚とします。卒業生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。ただし、指導要録等の保存期間の経過により調査書が得られない者、高等学校卒業程度認定試験合格者、その他調査書を提出できない者及び調査書の氏名と現在の氏名が相違している者は、38ページを参照してください。 （注）前期日程及び後期日程ともに本学を志願する者は、調査書は各々提出してください。
英語資格・検定試験の成績証明書	理学部理学科 募集区分(Ⅱ) 志願者	本学が指定している英語資格・検定試験を受験している場合は、実用英語技能検定、GTEC、TOEFL iBT、TOEIC L&R 及び TOEIC S&W、TEAP、IELTS、ケンブリッジ英語検定のいずれか 1 つのスコアの原本を提出してください。なお、以下の提出方法も認めます。 ・実用英語技能検定のデジタル証明書：本学ウェブサイトから「所定の書式」をダウンロード・記入して、提出してください。 （参考）「所定の書式」掲載ページ https://www.u-toyama.ac.jp/admission/undergraduate-exam/guidebook/ （本学トップページ）→「入試情報」→「学部入試」→「入試の種類と募集要項」 ・TOEIC L&R 及び TOEIC S&W のデジタル公式認定証：PDF 版を印刷して提出してください。 ・TOEFL iBT のスコア直送：D I コード（G256）を選択し、

		出願書類到着期限までに本学に到着するように、スコアの直送を手配してください。併せて、TOEFL iBTのスコアを直送する旨入学志願票の余白に記入してください。
英語資格・検定試験スコア返却用封筒（返却希望者のみ）		英語資格・検定試験のスコア提出者で、提出した原本の返却を希望する者は、角型2号の封筒を用意し、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入の上、140円分の切手を貼付してください。
入学資格審査結果通知書（写）	該当者のみ	学校教育法施行規則第150条第7号の規定により富山大学が行う個別の資格審査の結果により出願を認められた者は、本学から交付された「入学資格審査結果通知書」の写しを提出してください。

【後期日程】

出願書類等	提出者	摘 要
調査書	全員	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください（令和8年度に作成された調査書を提出してください。）。原則として、A4版表裏の両面を使って作成してください。枚数は両面1枚とします。卒業生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。ただし、指導要録等の保存期間の経過により調査書が得られない者、高等学校卒業程度認定試験合格者、その他調査書を提出できない者及び調査書の氏名と現在の氏名が相違している者は、38ページを参照してください。 （注）前期日程及び後期日程ともに本学を志願する者は、調査書は各々提出してください。
英語資格・検定試験の成績証明書	理学部理学科募集区分（Ⅱ）志願者	本学が指定している英語資格・検定試験を受験している場合は、実用英語技能検定、GTEC、TOEFL iBT、TOEIC L&R及びTOEIC S&W、TEAP、IELTS、ケンブリッジ英語検定のいずれか1つのスコアの原本を提出してください。なお、以下の提出方法も認めます。 ・実用英語技能検定のデジタル証明書：本学ウェブサイトから「所定の書式」をダウンロード・記入して、提出してください。 （参考）「所定の書式」掲載ページ https://www.u-toyama.ac.jp/admission/undergraduate-exam/guidebook/ （本学トップページ）→「入試情報」→「学部入試」→「入試の種類と募集要項」 ・TOEIC L&R 及び TOEIC S&Wのデジタル公式認定証：PDF版を印刷して提出してください。 ・TOEFL iBTのスコア直送：D Iコード（G256）を選択し、出願書類到着期限までに本学に到着するように、スコアの直送を手配してください。併せて、TOEFL iBTのスコアを直送する旨入学志願票の余白に記入してください。
英語資格・検定試験スコア返却用封筒（返却希望者のみ）		英語資格・検定試験のスコア提出者で、提出した原本の返却を希望する者は、角型2号の封筒を用意し、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入の上、140円分の切手を貼付してください。
入学資格審査結果通知書（写）	該当者のみ	学校教育法施行規則第150条第7号の規定により富山大学が行う個別の資格審査の結果により出願を認められた者は、本学から交付された「入学資格審査結果通知書」の写しを提出してください。

(6) 出願上の注意事項

- ① インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。支払

期間内に検定料を支払い、出願に必要な書類を出願期間内に本学に送付する必要があります。前期日程及び後期日程ともに本学を志願する場合、それぞれ出願登録を行い、検定料を支払う必要があります。なお、災害による被災者に対して検定料免除の制度があります。詳細は本学のウェブサイトを参照してください。

- ② 国公立大学・学部の学校推薦型選抜又は総合型選抜の合格者は、**本学の一般選抜を受験しても、その合格者とはなりません。**ただし、学校推薦型選抜又は総合型選抜の合格者が、入学辞退について当該大学から許可された場合は除きます。
- ③ 前期日程に合格し、**令和9年3月15日（月）までに入学手続を行った者は、後期日程の試験を受験しても、その合格者とはなりません。**
- ④ 出願に関する事又はその他の問い合わせは、下記あてに照会してください。

照会先：富山大学学務部入試課

〒930-8555 富山市五福3190 TEL (076) 445-6100

- ⑤ 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑥ 出願後における「志望学部・学科（コース）等」、「選抜区分」、「選択科目」等の変更は認めません。
- ⑦ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ⑧ 「入学志願票」の「連絡先」は、出願書類に関する照会、合格通知、その他緊急の連絡時に必要となりますので、変更が生じた場合は、至急本学学務部入試課に届け出てください。
- ⑨ 受験票は、出願期間終了後、受験票等発行日以降に、インターネット出願サイト上で印刷ができるようになります。印刷して、試験当日に必ず持参してください。（39ページを参照してください。）
- ⑩ 入学許可の後においても、提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

(7) 安全保障輸出管理について

富山大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供、貨物の輸出の観点から、安全保障輸出管理について厳格な審査を行っています。規制されている事項に該当する場合は、入学を許可できない場合や希望する教育が受けられない、希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、出願にあたっては注意してください。

(参考) 「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」

URL <http://www3.u-toyama.ac.jp/soumu/kisoku/pdf/0110401.pdf>

9 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、怪我、発達障害等）があつて、受験上及び修学上特別な配慮を希望する入学志願者は、出願に先立ち、本学学務部入試課へ事前相談を行ってください。

なお、必要に応じて、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

※事前相談の申請を行った場合でも、本学への出願が義務付けられるわけではありません。

(1) 相談期限

令和9年1月20日（水）まで

視覚障害、体幹及び両上下肢の機能障害が著しい入学志願者で、大学入学共通テストで「点字解答」又は「代筆解答」の措置を申請する志願者は、上記の期限にかかわらずできるだけ早い時期に相談してください。

なお、期限後に、受験及び修学の際に特別な配慮が必要となった入学志願者は、速やかに本学学務部入試課へ問い合わせてください。

(2) 相談方法

本学ウェブサイトから「事前相談申請書」をダウンロードするか、下記事項を記載した申請書を作成し、医師の診断書（写しでも可）等を添え、本学学務部入試課へ提出してください。

- ① 氏名・性別・生年月日・住所・電話番号・メールアドレス
- ② 志望の学部・学科（コース）等・受験する入試区分
- ③ 障害等の種類・程度
- ④ 受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ⑤ 修学の際に特別な配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校等でとられていた措置（担任教諭の所見のあるもの）
- ⑦ 日常生活の状況
- ⑧ その他参考となる事項（相談する際の参考資料があれば、併せて提出してください。
例：身体障害者手帳の写し、大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書の写し等）

（参考）事前相談申請書掲載ページ

（本学トップページ）→「入試情報」→「障害等のある入学志願者の事前相談」

(3) 相談先

富山大学学務部入試課 〒930-8555 富山市五福3190
TEL (076) 445-6100 FAX (076) 445-6104

（注）日常生活で使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を、受験時に使用したい場合も、試験場設定等において配慮が必要となる場合がありますので、必ず事前に相談してください。

事前相談は、障害等のある入学志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害等のある方の受験や修学を制限するものではありません。

（参考）国立大学法人富山大学障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領
（本学トップページ）→「大学紹介」→「情報公開」→「大学運営に関する情報」を確認してください。

10 調査書が提出できない者及び調査書の氏名と現在の氏名が相違している者の取扱い

1 高等学校又は中等教育学校卒業の者

指導要録等の保存期間が経過した者、又は廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、次によってください。

- (1) 卒業後5年を経過した場合
卒業証明書及び「成績証明書又は単位修得証明書」をもって代えることができます。
- (2) 卒業後20年を経過した場合
卒業証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもって代えることができます。
- (3) 廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合
卒業証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもって代えることができます。

なお、これらが提出できない場合は、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した「調査書等を発行できない旨の証明書」を提出してください。

2 その他の者

- (1) 高等学校卒業程度認定試験合格者（従前の大学入学資格検定合格者を含む。）は、合格成績証明書をもって調査書に代えてください。なお、高等学校等において科目を修得したことにより、受験科目を一部免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の調査書、成績証明書又は単位修得証明書（出身学校長が作成し、厳封したもの）を併せて提出してください。
- (2) 高等専門学校第3学年修了者及び修了見込みの者並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者は、出身学校において文部科学省の定めた調査書に

準じて作成したものをもって調査書に代えてください。

- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者、GCE Aレベル資格取得者、インターナショナルAレベル資格取得者及びヨーロッパ・バカロレア資格取得者は、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えてください。
- (4) 外国において、国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者は、成績証明書及び当該教育施設が上記団体から認定を受けていることが確認できる証明書（当該施設の長が発行したもの）に代えてください。
- (5) 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了した者及び修了見込みの者は、成績証明書をもって調査書に代えてください。

3 調査書の氏名と現在の氏名が相違している者

調査書の氏名と現在の氏名が相違している者は、戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）等の改姓、改名を証明する書類を併せて提出してください。

（注） 令和8年度に作成された証明書等を提出してください。

11 受験票及び受験上の注意事項の印刷

- (1) 受験票は、志願者が郵送した出願書類を本学が受理した後、受験票等発行日以降に、インターネット出願サイト上で印刷ができるようになります。なお、受験票の印刷が可能になりましたら、インターネット出願時に登録した志願者のメールアドレスへ通知します。
なお、教育学部又は医学部医学科で2段階選抜を実施した場合、第1段階選抜で不合格になった者は、受験票の発行はできません。

受験票等発行日 令和9年2月10日(水) 15時(予定)

（注）受験票等発行日は予定のため、変更になる可能性があります。

- (2) インターネット出願サイトの「ログイン」からマイページにログインします。ログインするためには【メールアドレス・ご自身で設定したパスワード】が必要になります。
- (3) ログイン後、受験票をダウンロードしてください。受験票は、**A4用紙にカラー印刷**して、必ず試験当日に持参してください。なお、受験票と一緒に受験上の注意事項が印刷されます。必ず事前に熟読してください。

医学部医学科前期日程志願者は、受験票と一緒に、受験上の注意事項のほか「自己紹介書」が印刷されます。「自己紹介書」は面接における参考資料とするため、必要事項を記入の上、2月25日(木)の前期日程試験当日に必ず持参してください。

注意事項

- (1) 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出願登録した内容と異なっている場合は、入試に関する問い合わせ先（学務部入試課）へ速やかに連絡してください。
また、パソコン等の画面上の受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が、一致していることを必ず確認してください。
- (2) メールが届かない場合でも、インターネット出願サイトにログインして受験票、受験上の注意事項及び自己紹介書（医学部医学科のみ）を印刷してください。
- (3) インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。試験当日は受付番号での受験はできませんので、必ず受験票を持参してください。
- (4) 試験当日に、スマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めません。必ず

印刷した受験票を持参し、試験終了後も大切に保管してください。

12 欠員の補充方法

(1) 追加合格

入学手続締切日（前期日程においては3月15日(月)、後期日程においては3月27日(土)）において、入学手続完了者数が各学部の募集人員に満たない場合は、令和9年3月28日(日)から31日(水)までの間に、国公立大学・学部に入的手続をしていない者を対象として、追加合格による欠員補充を行います。

追加合格者には、電話等により入学志願票の「志願者連絡先」に連絡を行い、資格及び入学の意志を確認の上、文書による通知を行います。追加合格の連絡を受けた場合には、直ちに入学の意志等を回答し、指定の期日までに入学手続を行ってください。

(注1) 本学の前期日程合格者で入学を辞退した者は、本学の前期日程の追加合格者の対象とはしません。また、本学の後期日程合格者で入学を辞退した者は、本学の後期日程の追加合格者の対象とはしません。

(注2) 本学から追加合格対象者として通知を受けても、すでに1つの国公立大学・学部に入手続を完了した者は、これを取り消して本学に入手続をすることはできません。

(2) 欠員補充第2次募集

追加合格による欠員補充によってもなお入学定員に満たない学部にあつては、欠員補充のための第2次募集を（3月末に）実施することがあります。

実施に際しては、令和9年3月28日(日)以降に本学ウェブサイト（本学トップページから入試情報をクリックすると閲覧できます。）で通知するとともに富山県内各報道機関に発表します。

13 志願者等の個人情報の取扱い

本学が保有する個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。合否判定の際には用いません。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、性別、生年月日、高等学校等コード、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
- (4) 出願にあたって知り得た個人情報は、本学入学手続完了者（学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜及び総合型選抜にあつては、合格者を含む。）についてのみ、入学前における準備教育及び入学後における①教務関係（学籍、修学指導、学生証の作成等）、②学生支援指導関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務、④統計調査及び分析を行うために利用します。
- (5) 本学合格者についての受験番号、氏名及び住所に限り、本学の関係団体である後援会、生活協同組合及び同窓会（入学者のみ）からの連絡を行うために利用する場合があります。

(注) 上記団体からの連絡を希望しない場合は、本学学務部入試課（連絡先は、裏表紙を参照）にその旨申し出てください。

- (6) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供しますが、守秘義務を遵守するよう指導します。

14 教育学部を志願する皆さんへ

「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」（こども性暴力防止法）の施行に伴い、特定性犯罪前科を有する学生は児童等と接する実習を行うことができなくなります。つきましては、本学部への出願にあたり、予め以下の事項についてご承知おきください。

- (1) 児童等に接する実習を行う前に、実習を履修する学生に対して、法に基づく犯罪事実確認が行われる可能性があること。この手続を通じて特定性犯罪前科が確認された学生については、児童対象性暴力等のおそれがあるとの判断の下、児童等に接する実習を行うことはできないこと。
- (2) 実習を行うことができない場合は、教員養成課程を修了して大学等を卒業することにより得られる教員免許状及び保育士資格の取得要件を満たすことができないこと。
- (3) 教育学部において必修科目である実習を行うことができない場合は、卒業できないこと。

15 入試情報開示

令和9年度一般選抜にかかる入試情報の開示については、次のように実施します。

(1) 合格者の最高点・最低点・平均点

合格者の成績の総点（大学入学共通テスト成績と個別テスト等の合計点）の最高点・最低点・平均点を所定の期間（令和9年5月上旬から次年度のデータ更新時まで）ウェブサイト（本学トップページから入試情報をクリックすると閲覧できます。）で公表します。

ただし、追加合格者、募集人員又は合格者が10人以下の場合は公表しません。

(2) 入学試験個人成績等の開示

令和9年度一般選抜（前期日程・後期日程）の試験成績について、受験者本人からの申請に限り、次のとおり開示します。

ただし、欠席者、出願無資格者及び第1段階選抜不合格者については、試験成績開示は行いません。

① 申請方法

インターネット出願時に、28ページのSTEP2の出願内容の登録で、成績開示申請を「する」を選択してください。

（出願後の申請は受け付けません。）

② 開示内容

大学入学共通テストの合計点（本学の配点に換算した点数）、個別テスト等の教科ごとの得点及び総点（大学入学共通テストと個別テスト等の合計点）

③ 成績開示期間

令和9年5月1日（土）～5月31日（月）

④ 開示方法

③成績開示期間中に、インターネット出願サイト（<https://e-apply.jp/ds/toyama-u/>）の「ログイン」からマイページにログインして、成績を確認してください。

⑤ その他

不明な点、成績及び合否等の疑義は、本学学務部入試課に問い合わせてください。

学務部入試課 TEL (076) 445-6100

(3) 採点・評価基準

令和9年度一般選抜の採点・評価基準については、以下のとおりです。

前期日程

学 部	学 科 等	教科等	採 点 ・ 評 価 基 準
人文学部	人文学科	国語	古典及び近代以降の多様な文章から問題文を選び、基礎的な知識を踏まえた読解力及び記述による適切な表現力を評価する。
		外国語(英語)	ある程度の長さの英文を正確に理解する力と、まとまった内容を基本的な英語で的確に表現する力を評価する。
教育学部	共同教員養成課程	国語	古典及び近代以降の多様な文章から問題文を選び、基礎的な知識を踏まえた読解力及び記述による適切な表現力を評価する。
		数学	問題の理解力、論理的な思考力及び計算力、これらを伴った表現力を総合的に評価する。
		外国語(英語)	ある程度の長さの英文を正確に理解する力と、まとまった内容を基本的な英語で的確に表現する力を評価する。
経済学部	経済経営学科	数学	問題の理解力、論理的な思考力及び計算力、これらを伴った表現力を総合的に評価する。
		外国語(英語)	ある程度の長さの英文を正確に理解する力と、まとまった内容を基本的な英語で的確に表現する力を評価する。
理学部	理学科 募集区分(Ⅰ) 募集区分(Ⅱ)	数学	問題の理解力、論理的な思考力及び計算力、これらを伴った表現力を総合的に評価する。
		物理	高等学校で学ぶ物理に関する基礎的な問題を出題し、物理の基本概念の理解度、応用力、論理的思考力を評価する。
		化学	入学後の学習において支障が生じないだけの基礎学力が身についているかに留意しながら、知識のみならず、理解力、化学的思考力をも含めて評価する。
		生物	高等学校までで学ぶ生物学に関して、幅広い基礎的知識と論理的思考力を評価する。
	募集区分(Ⅱ)	地学	地学に関する基礎知識と論理的思考力の到達度を評価基準とし、採点では評価に応じた部分点を配慮する。
医学部	医学科	数学	問題の理解力、論理的な思考力及び計算力、これらを伴った表現力を総合的に評価する。
		物理	高等学校で学ぶ物理に関する基礎的な問題を出題し、物理の基本概念の理解度、応用力、論理的思考力を評価する。
		化学	入学後の学習において支障が生じないだけの基礎学力が身についているかに留意しながら、知識のみならず、理解力、化学的思考力をも含めて評価する。
		生物	高等学校までで学ぶ生物学に関して、幅広い基礎的知識と論理的思考力を評価する。
		外国語(英語)	ある程度の長さの英文を正確に理解する力と、まとまった内容を基本的な英語で的確に表現する力を評価する。
		面接	思考力、協調性、積極性、将来性を評価する。
	看護学科	外国語(英語)	ある程度の長さの英文を正確に理解する力と、まとまった内容を基本的な英語で的確に表現する力を評価する。
		小論文	論理的思考力と文章表現力を評価する。

学 部	学 科 等		教科等	採 点 ・ 評 価 基 準
薬学部	全学科		数学	問題の理解力，論理的な思考力及び計算力，これらを伴った表現力を総合的に評価する。
			物理	高等学校で学ぶ物理に関する基礎的な問題を出題し，物理の基本概念の理解度，応用力，論理的思考力を評価する。
			化学	入学後の学習において支障が生じないだけの基礎学力が身についているかに留意しながら，知識のみならず，理解力，化学的思考力をも含めて評価する。
工学部	工学科全コース		数学	問題の理解力，論理的な思考力及び計算力，これらを伴った表現力を総合的に評価する。
			物理	高等学校で学ぶ物理に関する基礎的な問題を出題し，物理の基本概念の理解度，応用力，論理的思考力を評価する。
			化学	入学後の学習において支障が生じないだけの基礎学力が身についているかに留意しながら，知識のみならず，理解力，化学的思考力をも含めて評価する。
芸術文化学部	芸術文化学科	募集区分 a	実技検査	観察力，描写力及び表現力を総合的に評価する。
		募集区分 b	小論文	理解力，論理的思考力及び表現力を総合的に評価する。
都市デザイン学部	地球システム科学科		数学	問題の理解力，論理的な思考力及び計算力，これらを伴った表現力を総合的に評価する。
			物理	高等学校で学ぶ物理に関する基礎的な問題を出題し，物理の基本概念の理解度，応用力，論理的思考力を評価する。
			化学	入学後の学習において支障が生じないだけの基礎学力が身についているかに留意しながら，知識のみならず，理解力，化学的思考力をも含めて評価する。
			生物	高等学校までで学ぶ生物学に関して，幅広い基礎的知識と論理的思考力を評価する。
			地学	地学に関する基礎知識と論理的思考力の到達度を評価基準とし，採点では評価に応じた部分点を配慮する。
	都市・交通デザイン学科		数学	問題の理解力，論理的な思考力及び計算力，これらを伴った表現力を総合的に評価する。
			面接	都市デザイン学を学ぶための適性や意欲を評価する。
	材料デザイン工学科		数学	問題の理解力，論理的な思考力及び計算力，これらを伴った表現力を総合的に評価する。
			物理	高等学校で学ぶ物理に関する基礎的な問題を出題し，物理の基本概念の理解度，応用力，論理的思考力を評価する。
			化学	入学後の学習において支障が生じないだけの基礎学力が身についているかに留意しながら，知識のみならず，理解力，化学的思考力をも含めて評価する。

後期日程

学 部	学 科 等		教科等	採 点 ・ 評 価 基 準
人文学部	人文学科		小論文	論理的思考力と文章表現力を評価する。
教育学部	共同教員養成課程		面接	教員養成を主とした教育に関する適性・意欲を評価する。
経済学部	経済経営学科		総合問題	社会科学的思考力，文章表現力等を評価する。
理学部	理学科 募集区分（Ⅰ） 募集区分（Ⅱ）	数学	問題の理解力，論理的な思考力及び計算力，これらを伴った表現力を総合的に評価する。	
		物理	高等学校で学ぶ物理に関する基礎的な問題を出題し，物理の基本概念の理解度，応用力，論理的思考力を評価する。	
		化学	高等学校で学ぶ化学の基礎知識や基本概念に関する理解度，応用力，および論理的思考力を評価する。	
		生物	高等学校までで学ぶ生物学に関して，幅広い基礎的知識と論理的思考力を評価する。	
医学部	看護学科	小論文	論理的思考力と文章表現力を評価する。	
		面接	思考力，協調性，積極性，将来性を評価する。	
薬学部	全学科	小論文	科学的思考力と文章表現力を評価する。	
		面接	薬学を学ぶための適性や意欲を評価する。	
工学部	工学科		小論文	論理的思考力と文章表現力を評価する。
芸術文化 学部	芸術文化 学科	募集区分a	実技検査	観察力，描写力及び表現力を総合的に評価する。
		募集区分b	小論文	理解力，論理的思考力及び表現力を総合的に評価する。
都市デザ イン学部	地球システム科学科		数学	問題の理解力，論理的な思考力及び計算力，これらを伴った表現力を総合的に評価する。
	都市・交通デザイン 学科	数学	問題の理解力，論理的な思考力及び計算力，これらを伴った表現力を総合的に評価する。	
		面接	都市デザイン学を学ぶための適性や意欲を評価する。	
		材料デザイン工学科		面接

(4) 合否判定基準

令和9年度一般選抜の合否判定基準については、以下のとおりです。

合否ラインで成績順位が同じ場合は、調査書を参考資料として活用し総合的に合否を判定します。

前期日程

学部	学 科 等		合 否 判 定 基 準
人文学部	人文学科		総合点による高得点順とする。 同点の場合は、成績順位を同じとする。
教育学部	共同教員養成課程		大学入学共通テスト（本学で換算した点数）と個別テストの総合点の高得点順とする。同点の場合は、大学入学共通テスト（本学で換算した点数）の高得点順とする。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。
経済学部	経済経営学科		総合点による高得点順とする。同点の場合は、学部所定の基準により順位を付す。
理学部	理学科		大学入学共通テストと個別テストの総合点の高得点順とする。 同点の場合は、成績順位を同じとする。
医学部	全学科		大学入学共通テスト及び本学が行う個別テストとの総合点の高得点順とする。 ただし、 ・1教科でも0点があれば不合格とする。（注参照） ・同点者がある場合、次の順序とする。 1 個別テストの合計点の高い者を上位とする。 2 さらに同点の場合は成績順位を同じとする。 （注）1教科0点とは、例えば大学入学共通テストの外国語と本学が行う個別テストの外国語の計が0点である場合をさす。
薬学部	全学科		大学入学共通テスト及び本学の個別テストにおける総合点の高得点順とする。 ただし、 ・個別テストにおいて、0点の科目がある場合は不合格とする。 ・同点の場合は、学部所定の基準により順位を付す。
工学部	工学科全コース		コースごとに、大学入学共通テストと個別テストの総合点の高得点順とする。同点の場合は、成績順位を同じとする。 （合格者のコース決定方法は、33ページ「工学部」の項を参照のこと。）
芸術文化学部	芸術文化学科	募集区分 a	総合点による高得点順とする。同点の場合は、成績順位を同じとする。
		募集区分 b	
都市デザイン学部	地球システム科学科 材料デザイン工学科		大学入学共通テストと個別テストの総合点の高得点順とする。同点の場合は、成績順位を同じとする。
	都市・交通デザイン学科		大学入学共通テストと個別テスト等の総合点の高得点順とする。 ただし、 ・面接の得点が100点未満の場合は合格の対象としない。 ・同点の場合は、成績順位を同じとする。

後期日程

学 部	学 科 等		合 否 判 定 基 準
人文学部	人文学科		総合点による高得点順とする。 同点の場合は、成績順位を同じとする。
教育学部	共同教員養成課程		大学入学共通テスト（本学で換算した点数）の高得点順とする。ただし、面接において3段階評価を行い、基準に達しない場合は、合格対象外とする。
経済学部	経済経営学科		総合点による高得点順とする。同点の場合は、学部所定の基準により順位を付す。
理学部	理学科		大学入学共通テストと個別テストの総合点の高得点順とする。 同点の場合は、成績順位を同じとする。
医学部	看護学科		大学入学共通テスト及び本学が行う個別テスト等との総合点の高得点順とする。 ただし、 ・1教科でも0点があれば不合格とする。 ・同点者がある場合、次の順序とする。 1 個別テスト等の合計点の高い者を上位とする。 2 さらに同点の場合は成績順位を同じとする。
薬学部	全学科		大学入学共通テスト及び本学の個別テスト等における総合点の高得点順とする。 ただし、 ・個別テスト等において、0点の科目がある場合は不合格とする。また、面接において評価が「不可」の場合は、合格の対象としない。 ・同点の場合は、学部所定の基準により順位を付す。
工学部	工学科全コース		総合点による高得点順とする。同点の場合は、成績順位を同じとする。
芸術文化学部	芸術文化学科	募集区分 a	総合点による高得点順とする。同点の場合は、成績順位を同じとする。
		募集区分 b	
都市デザイン学部	地球システム科学科 材料デザイン工学科		大学入学共通テストと個別テスト等の総合点の高得点順とする。同点の場合は、成績順位を同じとする。
	都市・交通デザイン学科		大学入学共通テストと個別テスト等の総合点の高得点順とする。 ただし、 ・面接の得点が150点未満の場合は合格の対象としない。 ・同点の場合は、成績順位を同じとする。

(5) 正解・解答例等

令和9年度一般選抜の正解・解答例等については、以下の教科等について令和9年5月上旬以降、本学ウェブサイト（本学トップページから入試情報をクリックすると閲覧できます。）により公表します。

前期日程

学 部	学 科 等		教 科 等	正解・解答例等
人文学部	人文学科		国語	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			外国語（英語）	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
教育学部	共同教員養成課程		国語	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			数学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			外国語（英語）	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
経済学部	経済経営学科		数学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			外国語（英語）	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
理学部	理学科 募集区分（Ⅰ） 募集区分（Ⅱ）		数学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			物理	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			化学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			生物	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
	募集区分（Ⅱ）		地学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
医学部	医学科		数学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			物理	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			化学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			生物	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			外国語（英語）	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			面接	面接意図を公表する。
	看護学科		外国語（英語） 小論文	正解又は解答例及び出題意図を公表する。 出題意図を公表する。
薬学部	全学科		数学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			物理	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			化学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
工学部	工学科全コース		数学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			物理	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			化学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
芸術文化学部	芸術文化学科	募集区分 a	実技検査	出題意図を公表する。
		募集区分 b	小論文	出題意図を公表する。
都市デザイン学部	地球システム科学科		数学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			物理	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			化学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			生物	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			地学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
	都市・交通デザイン学科		数学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			面接	面接意図を公表する。
	材料デザイン工学科		数学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			物理	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			化学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。

後期日程

学 部	学 科 等		教 科 等	正解・解答例等
人文学部	人文学科		小論文	出題意図を公表する。
教育学部	共同教員養成課程		面接	面接意図を公表する。
経済学部	経済経営学科		総合問題	出題意図を公表する。
理学部	理学科		数学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
	募集区分（Ⅰ）		物理	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
	募集区分（Ⅱ）		化学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			生物	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
医学部	看護学科		小論文	出題意図を公表する。
			面接	面接意図を公表する。
薬学部	全学科		小論文	出題意図を公表する。
			面接	面接意図を公表する。
工学部	工学科		小論文	出題意図を公表する。
芸術文化学部	芸術文化学科	募集区分 a	実技検査	出題意図を公表する。
		募集区分 b	小論文	出題意図を公表する。
都市デザイン学部	地球システム科学科		数学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
	都市・交通デザイン学科		数学	正解又は解答例及び出題意図を公表する。
			面接	面接意図を公表する。
	材料デザイン工学科		面接	面接意図を公表する。

16 入学案内／学生生活

本学の入学者が利用できる主な制度をお知らせします。これらの詳細な内容は、合格発表の際に、合格通知書とあわせて本学から合格者に送付します。また、本学ウェブサイトでも情報提供します。

1 入学料及び授業料の免除等の制度

(1) 修学支援新制度

(本学トップページ) → 「教育・学生支援」 → 「経済的支援」 → 「修学支援新制度」
<https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/financial-support/school-support/>

(2) 入学料の納付猶予

(本学トップページ) → 「教育・学生支援」 → 「経済的支援」 → 「授業料・入学料免除」
<https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/financial-support/exemption/>

2 奨学金制度

(本学トップページ) → 「教育・学生支援」 → 「経済的支援」 → 「奨学金制度」
<https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/financial-support/scholarship/>

3 学生保険制度

学生が安心して学生生活（教育研究活動，課外活動，学外実習，通学等）を送ることができるよう，「学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険」に全員加入としています。

(本学トップページ) → 「教育・学生支援」 → 「学生支援」 → 「学生保険」
<https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/student-support/insurance/>

4 学生寮（新樹寮）

(本学トップページ) → 「教育・学生支援」 → 「学生支援」 → 「学生寮・アパート等」
<https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/student-support/dormitory/>

(1～4の問い合わせ先)

【五福キャンパス】富山大学学務部学生支援課

免除等担当 TEL (076) 445-6087 奨学金担当 TEL (076) 445-6089

学生寮担当 TEL (076) 445-6090 学生保険担当 TEL (076) 445-6085

【杉谷キャンパス】富山大学杉谷地区事務部学務課 TEL (076) 434-7130

【高岡キャンパス】富山大学芸術系総務・学務課 学務担当 TEL (0766) 25-9131

5 アパート・マンションの紹介

アパート・マンションの紹介は、富山大学生生活協同組合で行っています。

(問い合わせ先)

富山大学生生活協同組合 TEL (0120) 31-4248

受験生・新入生サポートサイト (<https://www.coop.u-toyama.ac.jp/>)

